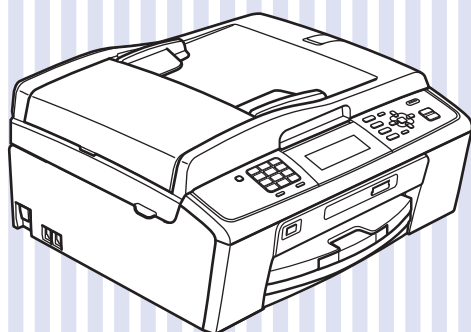
brother

MYMIO

MFC-J615N
かんたん設置ガイド

設置が終わったら
「ユーザーズガイド 基本編」をご覧ください。

困ったときは

本製品の動作がおかしいとき、故障かな？と思ったときなどは、以下の手順で原因をお調べください。

1
- ◆別冊のユーザーズガイド 基本編 第6章「こんなときは」
- ◆本書の「困ったときは」

で調べる

▼

2 サポート ブラザー

ブラザーのサポートサイト
にアクセスして、最新の情報を調べる
http://solutions.brother.co.jp/

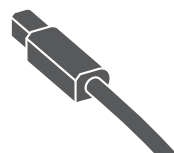
携帯電話からも簡単なサポート情報を見ることができます。
http://m.brother.co.jp/support/

サポートサイト

オンラインユーザー登録をお勧めします。

ブラザーマイポータル ▶ https://myportal.brother.co.jp/

ご登録いただくと、製品をより快適にご使用いただくための情報をいち早くお届けします。

このたびは本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
本書はなくさないように注意し、いつでも手に取って見ることができるようにしてください。

Version A JPN

ユーザーズガイドの構成

本製品には次のユーザーズガイドが用意されています。目的に応じて各ユーザーズガイドをご活用ください。

■ はじめにお読みください

<table>
<tr><td>1. 安全にお使いいただくために（冊子）
本製品を使用する上での注意事項や守っていただきたいことを記載しています。</td><td>
付属</td></tr>
<tr><td>2. かんたん設置ガイド（冊子）
お買い上げ後、本製品を使用可能な状態にするまでの手順を説明しています。</td><td>
付属</td></tr>
</table>

■ 用途に応じてお読みください

<table>
<tr><td>3. ユーザーズガイド 基本編（冊子）
本製品の基本的な使いかたと、困ったときの対処方法について詳しく説明しています。</td><td>付属</td></tr>
<tr><td>4. ユーザーズガイド 応用編（PDF 形式）
基本編で使いかたを説明していない機能について詳しく説明しています。本製品が持つ便利で楽しい機能を最大限に使いこなしてください。</td><td rowspan="3">
付属
ユーザーズマニュアルCD-ROM の見かた
⇒ 67 ページ</td></tr>
<tr><td>5. ユーザーズガイド パソコン活用編（PDF 形式）
本製品をパソコンとつないでプリンターやスキャナーとして使うときの操作方法や、付属の各種アプリケーションについて詳しく説明しています。</td></tr>
<tr><td>6. ユーザーズガイド ネットワーク設定編（PDF 形式）
本製品を手動でネットワークに接続するときの設定方法や、ネットワークに関して困ったときの対処方法を説明しています。</td></tr>
</table>

■ 便利にお使いください

<table>
<tr><td> 画面で見るマニュアル（HTML 形式）
上記のうち、3 ～ 6 のユーザーズガイドを一体化して、パソコンの画面上で見られるようにしたマニュアルです。参照先が書かれたところをクリックするとその掲載箇所に直接飛ぶため、冊子のページをめくったり別のガイドで探したりすることなく、知りたい情報をすぐに確認することができます。</td><td>
サポートサイト
ダウンロード</td></tr>
</table>

上記はすべて、最新版がサポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からもダウンロードできます。http://solutions.brother.co.jp/

最新のドライバーやファームウェア（本体ソフトウェア）を入手するときは？

弊社ではソフトウェアの改善を継続的に行なっております。
最新のドライバーに入れ替えると、パソコンの新しい OS に対応したり、印刷やスキャンなどの際のトラブルを解決できることがあります。また、本体のトラブルは、ファームウェア（本体ソフトウェア）を新しくすることで解決できることがあります。
最新のドライバーやファームウェアは、弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードしてください。ダウンロードやインストールの手順についても、サポートサイトに掲載されています。
http://solutions.brother.co.jp/
ダウンロードを始める前に、別冊のユーザーズガイド 基本編 「最新のドライバーやファームウェアをサポートサイトからダウンロードして使うときは」をご覧ください。

目次

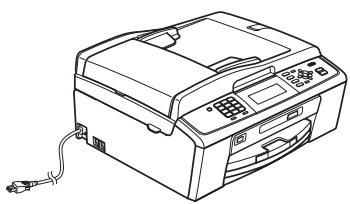
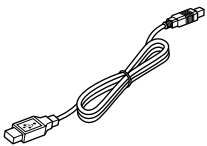
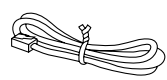
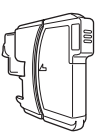
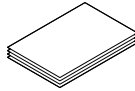
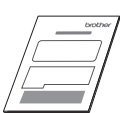
本書のみかた

本書で使用されている記号

本書では、下記の記号が使われています。

記号	説明
注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性のある内容を示します。
注意	お使いいただく上での注意事項、制限事項などを記載しています。
	知っていると便利なことや、補足を記載しています。
	本書内での参照先を記載しています。

注意

■ 本書に掲載されている画面は、実際の画面と異なることがあります。

編集ならびに出版における通告

本マニュアルならびに本製品の仕様は予告なく変更されることがあります。
ブラザー工業株式会社は、本マニュアルに掲載された仕様ならびに資料を予告なしに変更する権利を有します。また提示されている資料に依拠したため生じた損害（間接的損害を含む）に対しては、出版物に含まれる誤植その他の誤りを含め、一切の責任を負いません。

1 付属品の確認と保護部材の取り外し

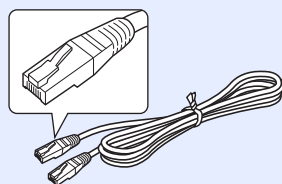
付属品を確認する

不備な点がございましたら、お買い上げの販売店または「ブラザーコールセンター（お客様相談窓口）」にご連絡ください。

本体		USB ケーブル	電話機コード
スターターインクカートリッジ（4 個）[*1]		A4 記録紙（普通紙）	L 判記録紙（光沢紙）
かんたん設置ガイド（本書）	安全にお使いいただくために	ユーザーズガイド 基本編	CD-ROM ・ドライバー & ソフトウェア CD-ROM ・ユーザーズガイド CD-ROM

[*1] スターターインクカートリッジは記録紙トレイの上の袋に入っています。お買い上げ後はじめてインクカートリッジを取り付けるときは、製品に同梱されているスターターインクカートリッジを必ずご使用ください。

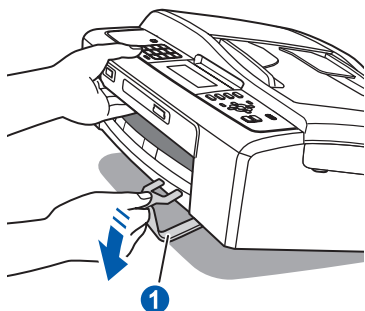
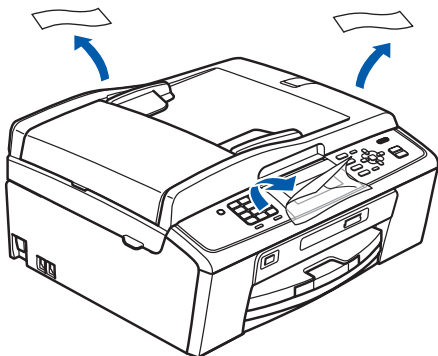
注意

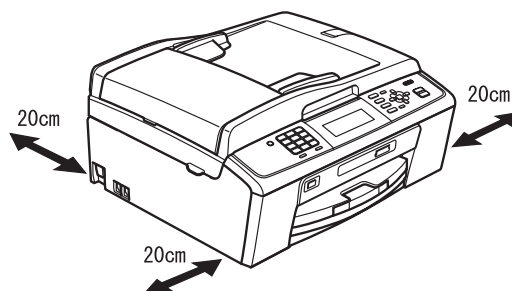
■ 本製品をネットワークに接続する LAN ケーブルは同梱されておりません。LAN 環境でお使いになる場合は、カテゴリ 5（100BASE-TX 用）以上のストレートケーブルをお買い求めください。

保護部材を取り外す

製品を取り出したら、テープや保護部材を取り外します。梱包用の箱や保護部材は輸送のときに使用しますので、廃棄せずに保管してください。

1 本製品から輸送用の保護部材や梱包材を取り除く

2 記録紙トレイを固定している保護部材❶を取り外す

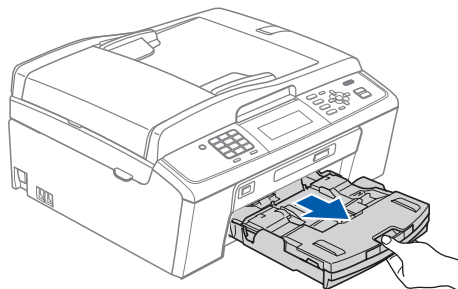
本製品の前面を上方向に持ち上げて傾け、保護部材を下に引き抜いてください。

3 本製品を固定しているテープやフィルム、液晶ディスプレイの保護フィルムをすべてはがす

設置スペースを確認する

本製品を設置するときは、まわりに下記のスペースを確保してください。

2 用紙をセットする

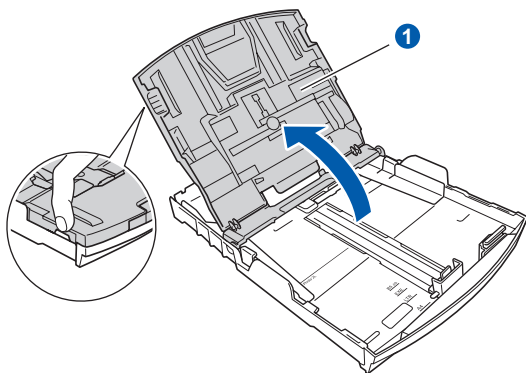
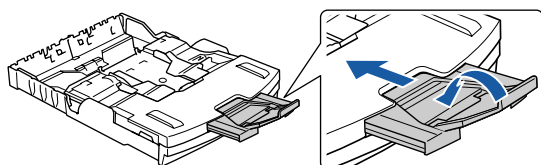
「印刷テスト」を行うために、記録紙トレイに付属の記録紙（A4）をセットします。

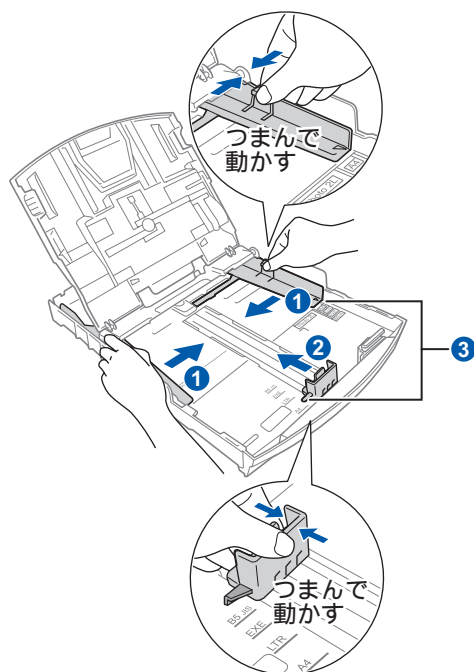
記録紙トレイには、A4 サイズの紙を約 100 枚までセットできます。セットできる記録紙の詳細については、下記をご覧ください。
⇒ユーザーズガイド 基本編「記録紙のセット」

1 記録紙トレイを引き出す

記録紙トレイが抜けにくい場合は、一旦奥まで差し込んで一気に引き出してください。

2 トレイカバー❶を開く

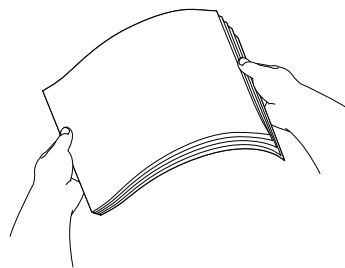
⚠ 注意

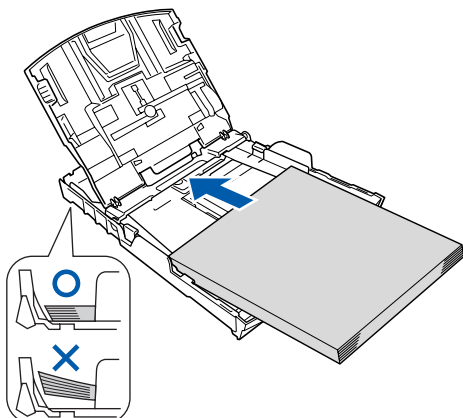
- トレイカバーが倒れて、指をはさまないようにご注意ください。
- トレイカバーが倒れないよう、平らな場所で行ってください。

記録紙ストッパーが開いている場合は、閉じてからトレイカバーを開いてください。

3 幅のガイド❶と長さのガイド❷の△の目印❸を、記録紙のサイズの目盛りに合わせる

幅のガイドは両手で動かしてください。

4 記録紙をさばく

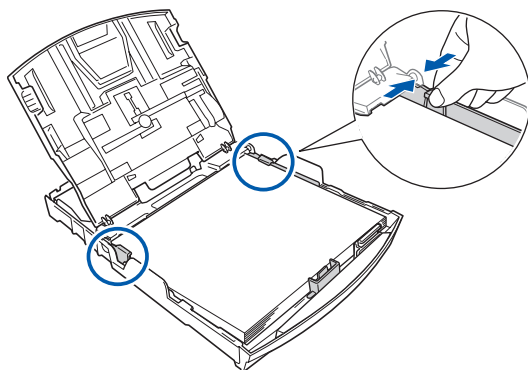
紙づまりや給紙ミスがないように、記録紙をさばきます。

記録紙がカールしていないことを確認してください。

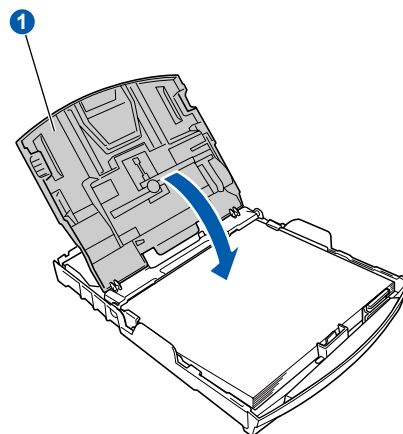
記録紙がカールしていると紙づまりの原因になります。

5 印刷したい面を下にして、記録紙の上端から先にセットする

記録紙の先端がコツンと当たるところまでセットします。強く押し込まないでください。用紙先端が傷ついたり、装置内に入り込んでしまうことがあります。

6 幅のガイドを、記録紙にぴったりと合わせる

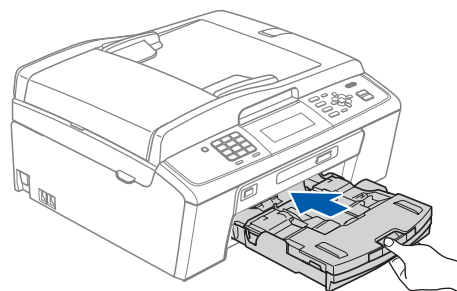
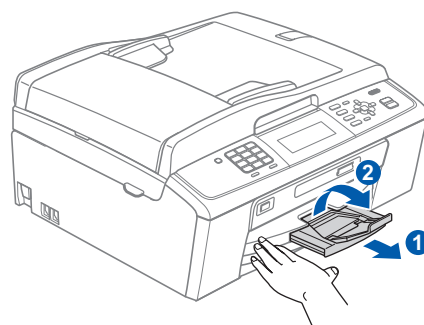
⚠ 注意

- トレイカバーが倒れて、指をはさまないようにご注意ください。
- トレイカバーが倒れないよう、平らな場所で行ってください。

注意

■ 幅と長さのガイドで記録紙を強くはさみつけないようにご注意ください。記録紙が浮いたり、傾いたりしてうまく給紙されない場合があります。

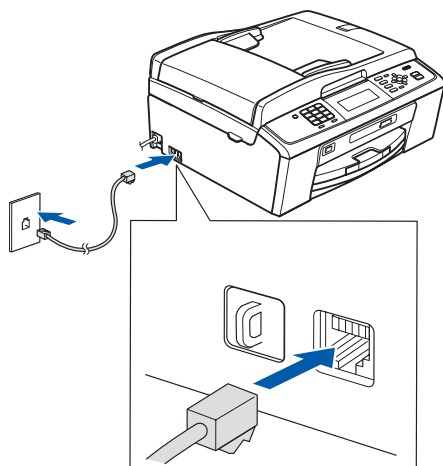
7 トレイカバー❶を閉じる

8 記録紙トレイを本体に戻す

記録紙トレイをゆっくりと確実に本製品に戻します。

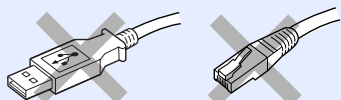
トレイを強く押し込むと、紙づまりの原因になります。力を入れて押し込まないでください。

9 トレイに手をそえ、記録紙ストッパーを確実に引き出し❶、フラップを開く❷

3 接続する

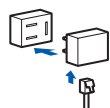
注意

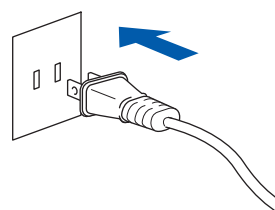
- ■ 以下に示す接続方法は一例です。間違った接続は他の機器に悪影響を与える可能性があります。以下に示す接続方法以外の接続をしたいときは、販売店にご相談ください。
- ■ お使いの電話回線にすでに何台かの電話機が接続されている場合は、本製品がご使用になれない場合があります。この場合は、配線工事が必要となります。工事には「電話工事担任者」の資格が必要となりますので、取り付け工事を行った販売店またはご利用の電話会社にご相談ください。
- ■ お使いの回線が ADSL・ISDN・ホームテレホン・ひかり電話などの場合は、「いろいろな接続」をご覧ください。
⇒ 17 ページ「いろいろな接続」
- ■ 電話機コードを接続しても、電話着信以外の機能はご使用になれません。その他の機能を使うためには、必ず「Step1 設置・接続する」のすべての設定を完了させてください。
- ■ 本製品は、2 つ以上の回線を同時に接続することはできません。
- ■ 本製品は、NTT のダイヤルインサービスには対応していません。

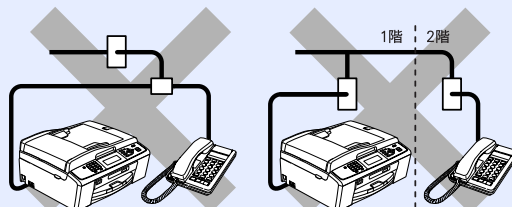
1 付属の電話機コードを本製品側面の「回線」接続端子と壁側の電話機コード差し込み口に差し込む

注意

- ■ 電源はまだ入れないでください。先に電話機コードから接続します。

- ■ ここではまだパソコンと接続しません。USB ケーブルや LAN ケーブルは接続しないでください。

付属品の電話機コードをご使用にならない場合も、6 極 2 芯の電話機コードをお使いください。6 極 4 芯の電話機コードをご使用になると、通話中に雑音が入ることがあります。

3 ピンプラグ式の場合は、市販のモジュラー付き電話キャップを購入してください。

直接配線式の場合は、別途工事が必要です。ご利用の電話会社にお問い合わせください。

2 電源プラグをコンセントに差し込む

注意

- ■ **ブランチ接続（並列接続）はしないでください。**
ブランチ接続（並列接続）をすると、以下のような支障があり、正常に動作できなくなります。
  - ファクスを送ったり受けたりしているときに、並列接続されている電話機の受話器を上げるとファクスの画像が乱れたり通信エラーが起こる場合があります。
  - 電話がかかってきたとき、ベルが鳴り遅れたり、途中で鳴りやんだり、相手がファクスのときに受信できない場合があります。
  - コードレスタイプの電話機を接続すると、子機が使えなくなる可能性があります。
  - 本製品で保留にした場合、並列電話機では本製品の保留状態を解除できません。
  - 並列に接続された電話機から本製品への転送はできません。
  - ナンバー・ディスプレイ、キャッチホン、キャッチホン・ディスプレイなどのサービスが正常に動作しません。
  - パソコンを接続すると、本製品が正常に動作しない場合があります。

「ブランチ接続（並列接続）」とは、一つの電話回線に複数台の電話機を接続することです。

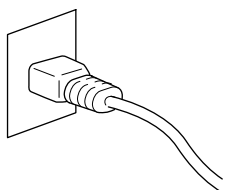
4 インクカートリッジを取り付ける

注意

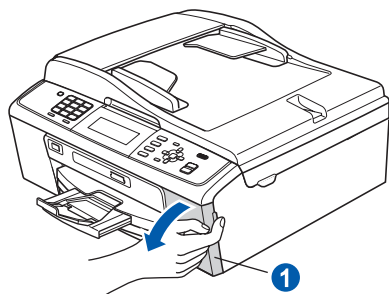
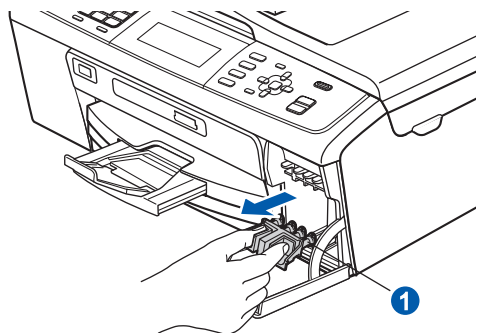
● 誤ってインクが目に入ってしまったときは、すぐに水で洗い流してください。インクが皮膚に付着したときは、すぐに水や石けんで洗い流してください。もし、炎症などの症状があらわれた場合は、医師にご相談ください。

注意

■ 本製品は、プリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために、自動的にプリントヘッドをクリーニングします。そのため、印刷をしていなくてもインクが消費されます。
■ インクカートリッジは、色によってセットする場所が決められています。間違った色の場所にインクカートリッジをセットしないようご注意ください。

1 電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認する

2 画面の表示を確認する

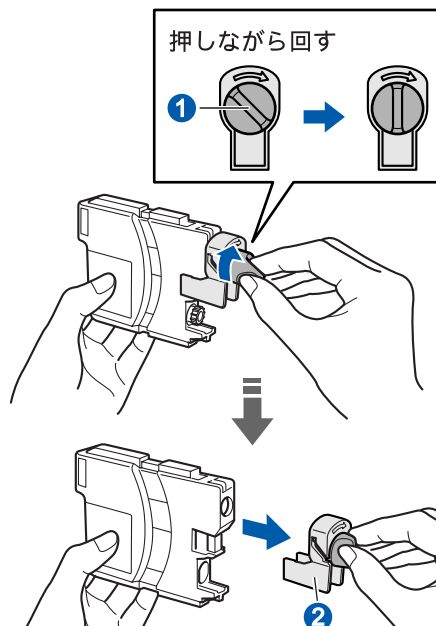
画面には【インクカートリッジがありません】と表示されています。

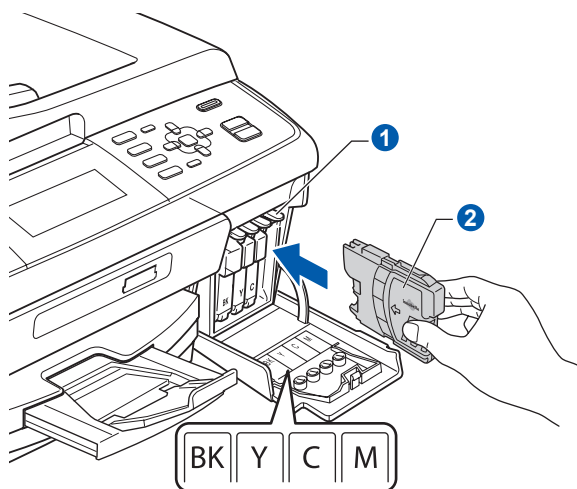
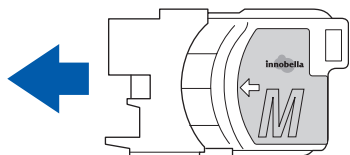
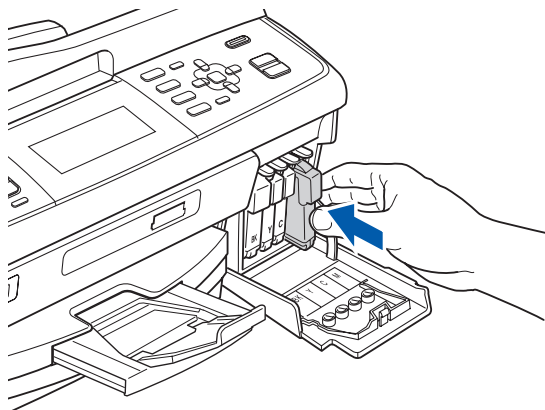
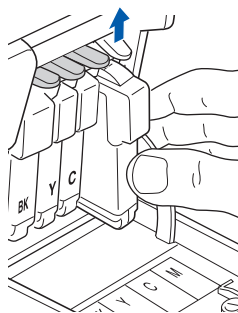
3 インクカバー❶を開く

4 インク挿入口にセットされている緑色の保護部材❶を取り出す

注意

■ 保護部材は輸送のときに使用しますので、廃棄せずに保管してください。

5 インクカートリッジを準備する

付属のスターターインクカートリッジを開封します。お買い上げ後はじめてインクカートリッジを取り付けるときは、必ずスターターインクカートリッジをご使用ください。

6 インクカートリッジの緑色のつまみ❶を右に最後まで回して封印を開放し、黄色いキャップ❷を引き抜く

7 インクカートリッジを取り付ける

リリースレバーの色❶と、インクカートリッジの色❷を合わせてください。

インクカートリッジは、本製品に向かって左の面にラベルがあるように、垂直にして差し込みます。

8 インクカートリッジを「カチッ」と音がするまで確実に押し込む

セットしたカートリッジの色のリリースレバーが上がっているか確認します。

⚠ 注意

- インクカートリッジを分解したり、振ったりしないでください。インク漏れの原因になります。
- インクカートリッジを分解しないでください。皮膚や服に付いた場合は、すぐに水や石けんなどで洗い流してください。

注意

- ■ インクカートリッジの取り付け、取り外しを繰り返さないでください。インクカートリッジからインクが漏れることがあります。
- ■ 間違った色のインクをセットしてしまった場合は、正しい色の場所に付け直したあと、プリントヘッドのクリーニングを複数回行ってください。プリントヘッドのクリーニング方法は、下記をご覧ください。
  ⇒ユーザーズガイド 基本編「プリントヘッドをクリーニングする」
- ■ 開封したインクカートリッジは、6ヶ月以内に使い切ってください。未開封の場合でも、パッケージに記載された有効期限以内に使用してください。
- ■ 純正以外のインクを使用したことによる不具合は、本製品が保証期間内であっても有償修理となります。
- ■ インクを補充して使うことは、プリントヘッドの目詰まりや、プリントヘッドの故障の原因となる可能性があります。また、インクの補充に起因して発生した故障は、本製品が保証期間内であっても有償修理となります。

9 インクカバーを閉じる

自動的に約 4 分間、プリントヘッドのクリーニングが行われます。

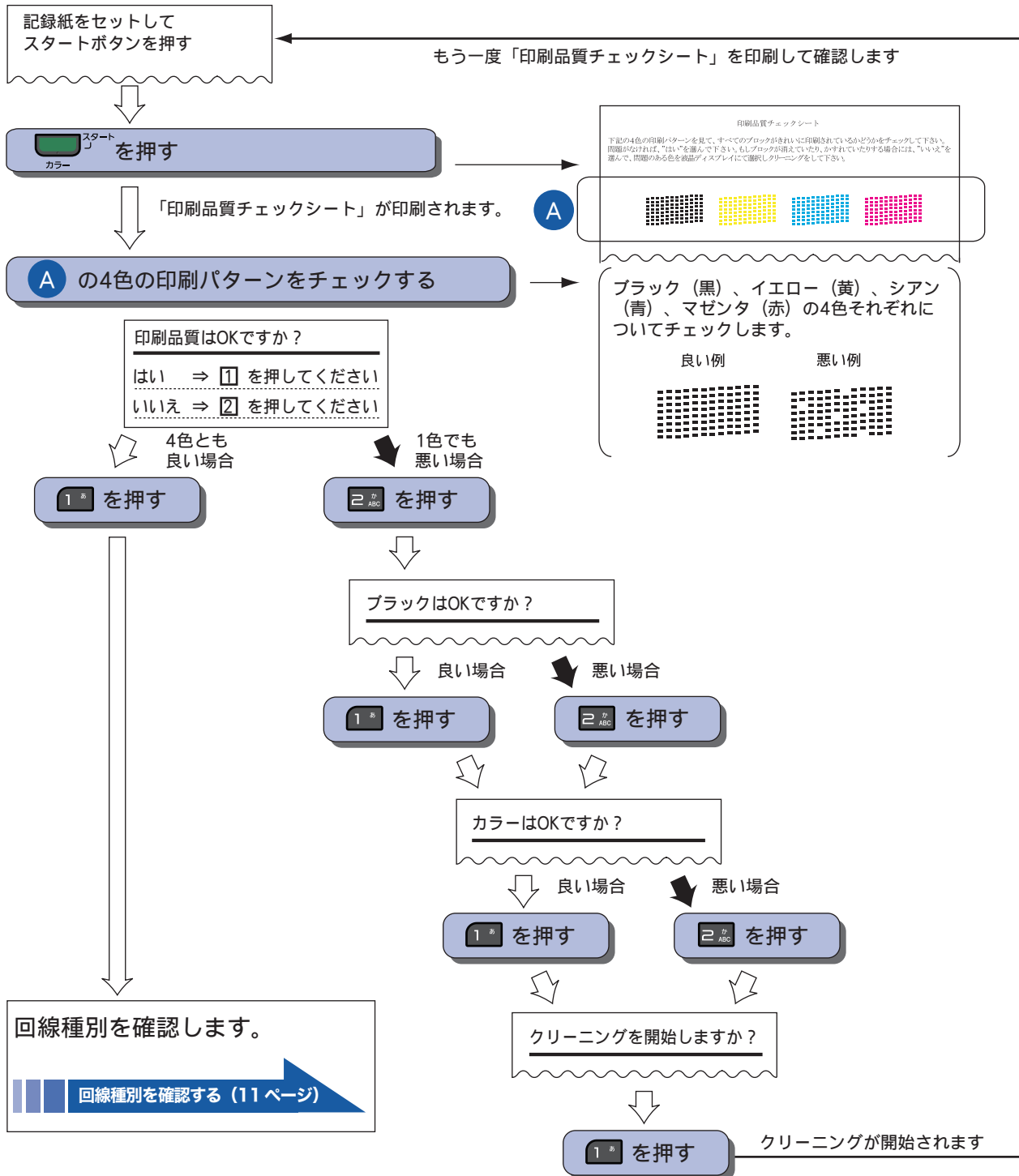
クリーニングを行う音がしますが、異常ではありませんので、電源を切らないでください。

【インクカートリッジがありません】と表示された場合は、インクカートリッジが正しくセットされていません。手順 7 または 8 に戻り、インクカートリッジをセットし直してください。

プリントヘッドのクリーニングが終わると、【記録紙をセットして　スタートボタンを押す】と表示されます。
引き続き、印刷テストへ進みます。

印刷テストをする（10 ページ）

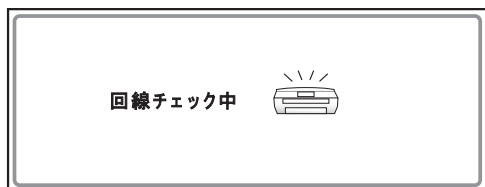
5 印刷テストをする

プリントヘッドのクリーニングが終わると、画面に【記録紙をセットして　スタートボタンを押す】と表示されます。
以下の手順に従って、印刷品質のチェックを行います。

クリーニングを繰り返しても印刷品質が悪い場合は、3 ～ 5 時間放置したあとで、再度「印刷品質チェックシート」を印刷してみてください。

6 回線種別を確認する

回線種別を確認します。

印刷テストが終わると、回線種別の自動設定が始まります。

回線チェック中

自動設定が終わると、設定された回線種別が 2 秒間、画面に表示されます。

- 【プッシュ回線です】
- 【ダイヤル 20PPS です】
- 【設定できませんでした】※

※【設定できませんでした】と表示されたときは

電話機コードが正しく接続されていません。画面の指示に従って、電話機コードを正しく接続してください。
⇒ 7 ページ「接続する」

電話機コードを接続しない場合は、停止/終了 を押したあと、画面のメッセージを確認して 1 を押してください。

正しく接続しないまま 5 分以上経過すると、回線種別は【ダイヤル 20PPS】（ダイヤル 20PPS 回線）に設定されます。

回線種別の設定が終わると、日付と時刻を設定する画面が表示されます。

日付と時刻の設定・接続状態の確認（12 ページ）

注意

■ 下記の場合には、本製品が自動で正しく回線種別を設定できないことがあります。

- ダイヤル 10PPS 回線をご利用の場合
- ひかり電話 /IP 電話 / 直収電話サービスをご利用の場合
- 構内交換機（PBX）が接続されている場合

引き続き [時計セット] に進み、日付と時刻の設定を終えたあと、発信テストを行い、正しく接続できていなかった場合には、手動で回線種別を設定してください。
⇒ 12 ページ「日付と時刻の設定・接続状態の確認」
⇒ 11 ページ「手動で回線種別を設定する」

手動で回線種別を設定する

(1) メニュー を押し、▲/▼ で【初期設定】を選び、OK を押す

(2) ▲/▼ で【回線種別設定】を選ぶ

(3) ◀/▶ で、回線種別を選び、OK を押す

- 回線種別がわからないときは、「ダイヤル 20PPS」「プッシュ回線」「ダイヤル 10PPS」の順に設定してみてください。
- ひかり電話サービス、直収電話サービスをご利用の場合は、「プッシュ回線」に設定してください。

(4) 停止/終了 を押す

7 日付と時刻の設定・接続状態の確認

日付と時刻を設定する

[時計セット]

現在の日付と時刻を合わせます。この日付と時刻は待ち受け画面に表示され、ファクス送信したときに相手側の記録紙にも印刷されます。

1 以下の画面が表示されていることを確認する

2 ダイヤルボタンで西暦の下 2 桁を入力し、OK を押す

例：2011 年の場合は、1 1 を押します。

日付や時刻を間違って入力したときは、クリア を押すと、入力し直すことができます。

月の入力画面が表示されます。

3 ダイヤルボタンで月を 2 桁で入力し、OK を押す

例：1 月の場合は、0 1 を押します。

日付の入力画面が表示されます。

4 ダイヤルボタンで日付を 2 桁で入力し、OK を押す

例：21 日の場合は、2 1 を押します。

時刻の入力画面が表示されます。

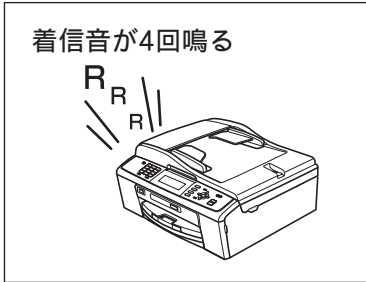
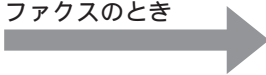
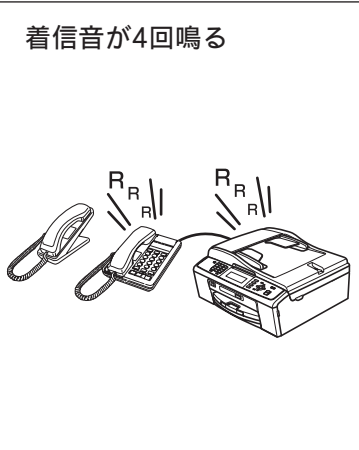
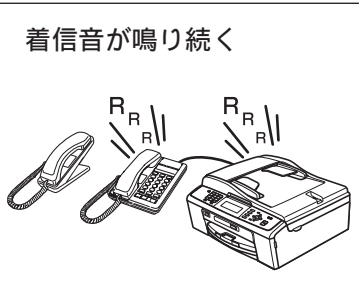
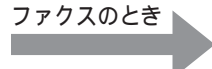
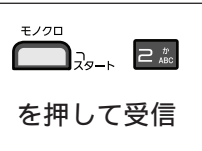
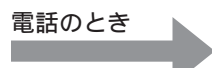
5 ダイヤルボタンで時刻を 24 時間制（4 桁）で入力し、OK を押す

例：午後 0 時 45 分の場合は、
1 2 4 5 を押します。

設定が終わり、画面に日付と時刻が表示されます。

時刻は時間が経過すると誤差が生じます。定期的に設定し直すことをお勧めします。

発信元登録をしていない場合は、相手側の記録紙に日時は印刷されません。

発信テストをする

正しく発信できるかを確認します。
オンフック を押して、「177」（天気予報：有料）などにつながるかどうかをご確認ください。つながったら、オンフック を押して回線を切ってください。

つながらない場合は、手動で回線種別を設定してください。

⇒ 11 ページ「手動で回線種別を設定する」

8 受信モードを選ぶ

用途に合わせた受信モードを以下から選び設定します。お買い上げ時は「ファクス専用モード」に設定されています。

電話機を接続しない

お買い上げ時

● ファクス専用【FAX= ファクス専用】

ファクスのとき

※ 呼出回数を 0 回にすると、本製品の着信音を鳴らさずにファクスを自動受信できます。
⇒ 15 ページ「呼出回数を設定する（ファクスのとき着信音を鳴らさずに受信する）」

※ ファクス専用モードで電話を受けるには、呼出音が 4 回鳴るまでに電話に出る必要があります。**お使いの電話機を本製品に接続する場合は、このモードに設定しないでください。**

電話機を接続する

● 自動で切り換える【F/T= 自動切換え】

※ ファクス付き電話は接続できません。

※ 呼出回数を 0 回にすると、本製品の着信音を鳴らさずにファクスを自動受信できます。
⇒ 15 ページ「呼出回数を設定する（ファクスのとき着信音を鳴らさずに受信する）」

※ 本製品が着信すると、本製品と接続している電話機に出なかった場合でも相手に通話料金がかかります。

※ 外付け電話でナンバー・ディスプレイ機能を使用する場合、再呼出音が鳴り始めてからは、画面に番号表示されません。

※ 回線がつながったあとに鳴る再呼出音の回数も設定できます。詳しくは、下記をご覧ください。
⇒ユーザーズガイド 基本編「着信音の回数を設定する」

※ ファクスが自動受信されない場合は、受話器をとってから モノクロ スタート 2 の順に押して手動でファクスを受信してください。

● 手動で切り換える【TEL= 電話】

電話機を接続する	● 外出するとき【留守 = 外付け留守電】 ※ ファクス付き電話は接続できません。 ※ 本製品と接続している留守番電話機の設定は、以下のようにしてください。 • 本製品と接続している留守番電話機の設定は「留守」にしてください。 • より確実に受信するために、呼出回数が設定できる機種では、応答するまでの呼出回数を短め (1 ～ 2 回) に設定してください。 • 応答メッセージは、最初に 4、5 秒くらい無音状態を入れ、できるだけ短め (20 秒以内) に録音してください。 • 応答メッセージには、BGM を録音しないでください。 • 録音用のテープがある場合は、テープが留守番電話機に取り付けられていることを確認してください。

メッセージがいっぱいで留守番電話機が応答しない場合は、ファクスも自動受信しません。

留守番電話機の機能が一部使えなくなる場合があります。（転送機能など）

受信モードを設定する

[受信モード]

本製品の使用目的に応じて、受信モードを選びます。

1 メニュー を押し、▲/▼ で【初期設定】を選び、OK を押す

2 ▲/▼ で【受信モード】を選ぶ

3 ◀/▶ で受信モードを選び、OK を押す

受信モードは、【FAX= ファクス専用】【F/T= 自動切換え】【留守 = 外付け留守電】【TEL= 電話】から選びます。

4 停止/終了 を押す

設定を終了します。

呼出回数を設定する（ファクスのとき着信音を鳴らさずに受信する）

[呼出回数セット]

「ファクス専用モード」と「自動切換モード」の場合、自動受信するまでの呼出回数を設定します。
本製品に接続されている電話機も、ここで設定した回数だけ着信音が鳴ります。お買い上げ時は【4】に設定されています。

1 メニュー を押し、▲/▼ で【ファクス】を選び、OK を押す

2 ▲/▼ で【受信設定】を選び、OK を押す

3 ▲/▼ で【呼出回数】を選ぶ

4 ◀/▶ で呼出回数を選び、OK を押す

設定値の一覧が表示されます。

呼出回数は【0 ～ 10】から選びます。
【0】にすると、着信音を鳴らさずに自動受信（ノンコール着信）できます。

5 停止/終了 を押す

設定を終了します。

- お使いの電話機を接続している場合、本製品の呼出回数を【0】に設定しても、お使いの電話機の着信音が 1 ～ 2 回鳴ることがあります。
- 呼出回数を 7 回以上に設定すると、特定の相手からのファクスが受信できない場合があります。呼出回数を 6 回以下に設定することをお勧めします。
- 本製品に複数台の電話機を接続すると、お使いの電話機のベルが鳴らない場合があります。

9 名前とファクス番号を登録する［発信元登録］

自分の名前とファクス番号を本製品に登録します。登録した名前とファクス番号は、ファクス送信したときに相手側の記録紙の一番上に印刷されます。

1 メニュー を押す

メニュー画面が表示されます。

2 ▲/▼ で【初期設定】を選び、OK を押す

3 ▲/▼ で【発信元登録】を選び、OK を押す

名前とファクス番号の入力画面が表示されます。

4 ファクス番号を入力し、OK を押す

> ファクス番号と電話番号を共通で使用している場合は、電話番号を入力してください。

20桁まで入力できます。ハイフンは入力できません。

5 名前を入力し、OK を押す

名前として入力できる文字数は 16 文字までです。
文字の入力方法については、下記をご覧ください。
⇒ユーザーズガイド 基本編「文字の入力方法」

6 停止/終了 を押す

設定を終了します。

発信元登録を削除するときは

以下の手順で発信元登録を削除します。

(1) メニュー を押し、▲/▼ で【初期設定】を選び、OK を押す

(2) ▲/▼ で【発信元登録】を選び、OK を押す

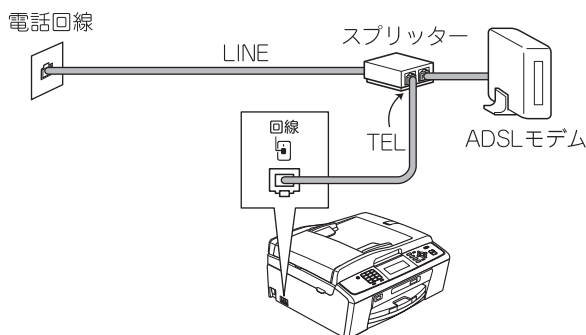
(3) ▲/▼ で【変更する】を選び、OK を押す

(4) クリア を繰り返し押して、ファクス番号を削除し、OK を押す

(5) 停止/終了 を押す

いろいろな接続

ADSL をご利用の場合

本製品を ADSL 環境で使用する場合は、本製品を ADSL スプリッターのTEL端子またはPHONE端子に接続してください。スプリッターに接続した状態で、ファクスが送受信できることを確認してください。

- お使いの機器によっては、ADSL モデムにスプリッター機能が内蔵されている場合があります。
- 詳しい設定については、スプリッターや ADSL モデムの取扱説明書をご覧ください。
- ADSL 環境で自分の声が響く、または相手の声が聞きづらいときは、ADSL のスプリッターを交換すると改善する場合があります。

注意

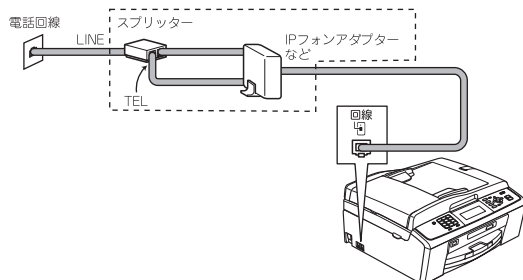
■ ADSL モデムにスプリッター機能が内蔵されていない場合、本製品と ADSL モデムは必ず「スプリッター」で分岐してください。「スプリッター」より前（電話回線側）で分岐すると、ブランチ接続（並列接続）となり、通話中に雑音が入ったり、音量が小さくなるなどの支障が発生します。

IP フォンなどの IP 網をご利用の場合

(1) IP フォンをご利用の場合

回線種別を自動設定できないことがあります。
その場合は、手動で回線種別を設定してください。
⇒ 11 ページ「手動で回線種別を設定する」

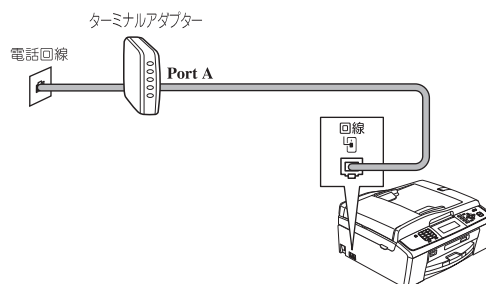
(2) IP 網を利用してファクス通信を行う場合

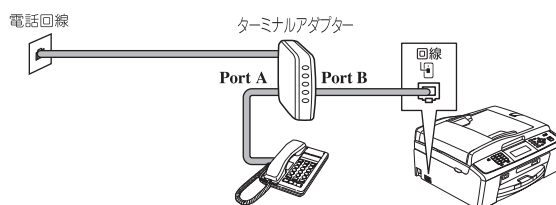
契約しているプロバイダーの通信品質が保証されていることを確認してください。

ISDN をご利用の場合

本製品を ISDN 回線のターミナルアダプターに接続するときは、以下の設定と確認を行ってください。

- 本製品：
  回線種別を【プッシュ回線】に設定する
- ターミナルアダプター：
  本製品を接続して電話がかけられるか、電話が受けられるか確認する

電話番号が 1 つの場合

本製品を、ターミナルアダプターのアナログポートに接続します。電話とファクスの同時使用はできません。

電話番号が 2 つの場合

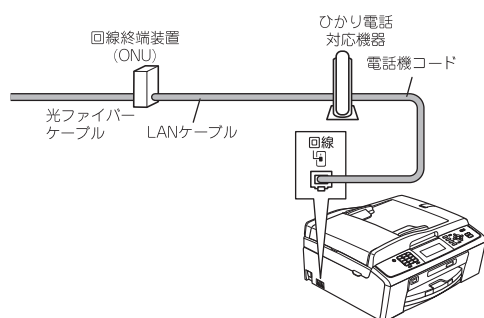
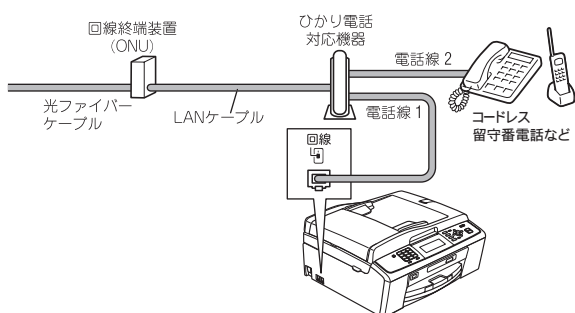
本製品を、ターミナルアダプターのアナログポートに接続します。2 回線分使用できるので、ファクス送信中でも通話できます。

- 詳しい設定については、ターミナルアダプターの取扱説明書をご覧ください。

注意

■ ISDN 回線でファクスの送受信がうまくいかない場合は、【特別回線対応】で【ISDN】を設定してください。
⇒ユーザーズガイド 基本編「特別な回線に合わせて設定する」

■ 本製品が使用できないときは、別冊の「ユーザーズガイド 基本編」の「故障かな？と思ったときは」をご覧ください。また、ターミナルアダプターの設定を確認してください。ターミナルアダプターの設定の詳細は、ターミナルアダプターの取扱説明書をご覧いただくか、製造メーカーにお問い合わせください。

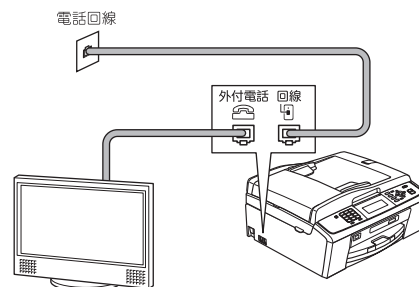
■ ナンバー・ディスプレイサービスを契約されている場合は、ターミナルアダプター側のデータ設定と、本製品側の設定が必要です。
⇒ユーザーズガイド 応用編「ナンバー・ディスプレイサービスを利用する」

ひかり電話をご利用の場合

● ひかり電話で複数番号を使う場合

注意

- ひかり電話をご利用の場合、回線種別を自動設定できないことがあります。その場合は、手動で回線種別を【プッシュ回線】に設定してください。
  ⇒ 11 ページ「手動で回線種別を設定する」
- 特定の番号だけつながらない、音量が小さい、ファクスを送受信できない、非通知相手からの着信ができないなどの問題がありましたら、ご利用の光回線の電話会社にお問い合わせください。

- ひかり電話についてのご質問はご利用の電話会社にお問い合わせください。
- ひかり電話対応機器などに設定するデータは、ご利用の電話会社から送付される資料をご覧ください。
- 回線終端装置（ONU）、ひかり電話対応機器などの接続方法や不具合は、ご利用の電話会社にお問い合わせください。
- お住まいの環境やご利用の電話会社により、配線方法や接続する機器が上記と異なる場合があります。

デジタルテレビを接続する場合

本製品とCSチューナーやデジタルテレビを接続するときは、外付電話接続端子に接続してください。

構内交換機（PBX）・ホームテレホン・ビジネスホンをご利用の場合

本製品を構内交換機などに接続する場合は、次のいずれかの方法で接続してください。

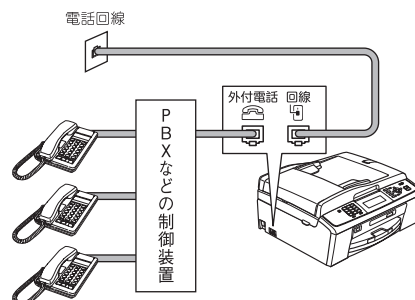
注意

- 構内交換機、ホームテレホン、ビジネスホンに接続している場合、回線種別の自動設定ができないことがあります。その場合は、手動で回線種別を設定してください。
  ⇒ 11 ページ「手動で回線種別を設定する」
- 着信音が鳴っても本製品が自動応答しない場合、本製品の【特別回線対応】の設定を【PBX】にしてください。
  ⇒ユーザーズガイド 基本編「特別な回線に合わせて設定する」

ホームテレホンとは
電話回線 1、2 本で複数の電話機を接続して、内線通話やドアホンも使用できる家庭用の簡易交換機です。

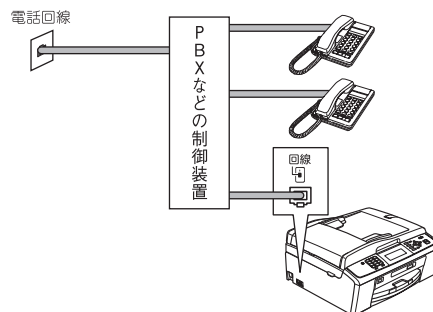
ビジネスホンとは
電話回線を 3 本以上収容可能で、その回線を多くの電話機で共有でき、内線通話などもできる簡易交換機です。

本製品の外付け電話としてホームテレホン、ビジネスホンを接続する

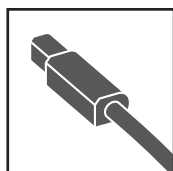
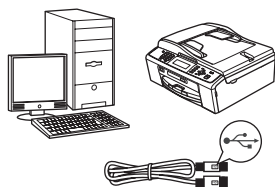
本製品の外付電話端子に構内交換機（PBX）などの制御装置を接続してください。

本製品を構内交換機（PBX）の内線電話として使用する

構内交換機またはビジネスホンの内線に本製品を接続する場合、構内交換機またはビジネスホン主装置の設定をアナログ 2 芯用に変更してください。設定変更を行わないと、本製品をお使いいただくことはできません。詳しくは、配線工事を行った販売店にご相談ください。

注意

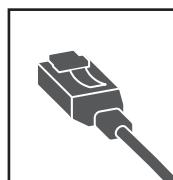
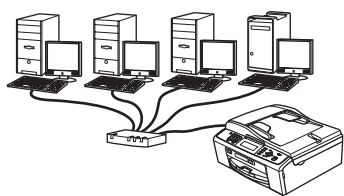
- 本製品の【特別回線対応】の設定を【PBX】にしてください。
  ⇒ユーザーズガイド 基本編「特別な回線に合わせて設定する」

PBX などの制御装置がナンバー・ディスプレイに対応していない場合は「ナンバー・ディスプレイサービス」がご利用になれません。本製品のナンバー・ディスプレイの設定を【なし】にしてください。
⇒ユーザーズガイド 応用編「ナンバー・ディスプレイサービスを利用する」

接続方法を選択する

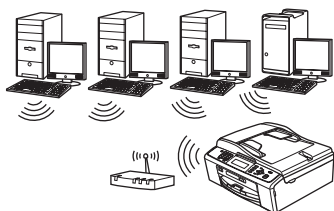
本製品をパソコンと接続してプリンターやスキャナーとして使用する場合は、ドライバーや付属のソフトウェアなどをインストールする必要があります。まず接続方法を選択してください。また、ソフトウェアをインストールする前に、ドライバー＆ソフトウェア CD-ROM に収録されている内容と、パソコンの動作環境（⇒ 66 ページ「使用環境」）を確認してください。

USB ケーブルで接続する場合

パソコンに直接本製品をつなぎます。

Windows® の場合　22 ページへ進む

Macintosh の場合　26 ページへ進む

LAN ケーブルで接続する場合

ルーター・ハブなどに本製品を有線でつなぎます。

28 ページへ進む

無線 LAN で接続する場合

無線 LAN アクセスポイントに本製品を無線でつなぎます。

36 ページへ進む

最新ドライバーがサポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）からダウンロードできます。ただし、サポートサイト上のドライバーに付属のソフトウェアは含まれません。付属のソフトウェアはドライバー & ソフトウェア CD-ROM からインストールしてください。CD-ROM ドライブ搭載（外付け可）のパソコンをお持ちでない場合は、付属のソフトウェアをご利用いただけません。

設置・接続する
パソコンに接続する
USB接続 Windows® Macintosh
有線LAN接続 Windows® Macintosh
無線LAN接続 Windows® Macintosh
困ったときは
付録

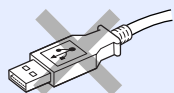
USB 接続

ドライバーとソフトウェアをインストールする（Windows® の場合）

注意

- インストールをする前に、「Step1　設置・接続する」のすべての設定が完了していることをご確認ください。
- 市販のセキュリティソフトをお使いの場合は、インストールが正常に行われない可能性があります。インストールする前に、セキュリティソフトを一時的に停止させておくことをお勧めします。
- メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーが本製品に差し込まれていないことをご確認ください。
- 起動しているアプリケーションがある場合は、終了させてからインストールを始めてください。
- 本製品に USB ケーブルと LAN ケーブルを同時につないでご使用になりたい場合は、手順に従って両方のインストールを行ってください。このとき、LAN ケーブルと USB ケーブルをまとめて積み上げ、本体内部の溝におさめてください。（コア付きの USB ケーブルはご使用になれません。）

注意

- ここではまだ USB ケーブルは接続しないでください。

1 パソコンの電源を入れる

Windows® 2000 Professional/XP/ XP Professional x64 Edition/Windows Vista®/ Windows® 7 を使用している場合は、「アドミニストレーター（Administrator）権限」または「管理者権限」でログインします。

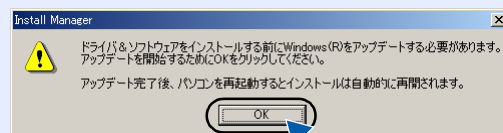
2 付属のドライバー＆ソフトウェア CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

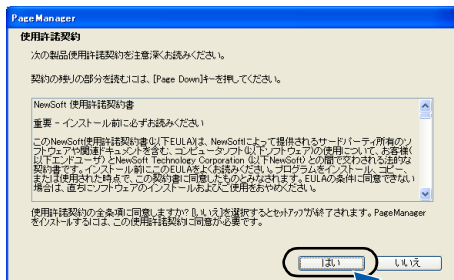
「トップメニュー」画面が表示されます。

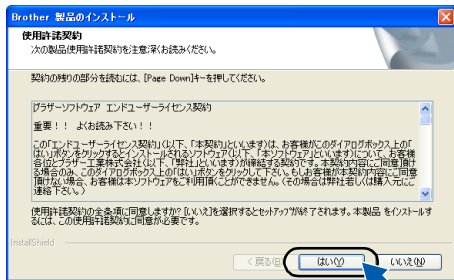
画面が表示されないときは、「マイコンピュータ（コンピュータ）」から CD-ROM ドライブをダブルクリックし、「start.exe」をダブルクリックしてください。

3 「インストール」をクリックする

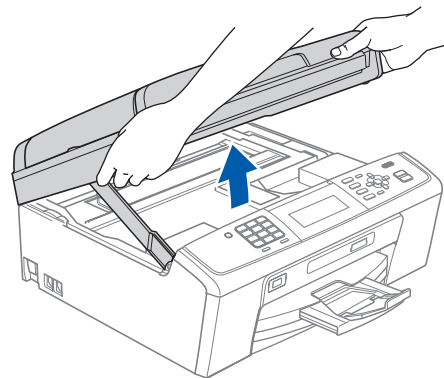
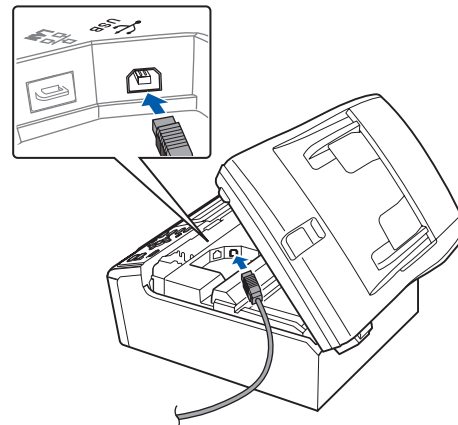
注意

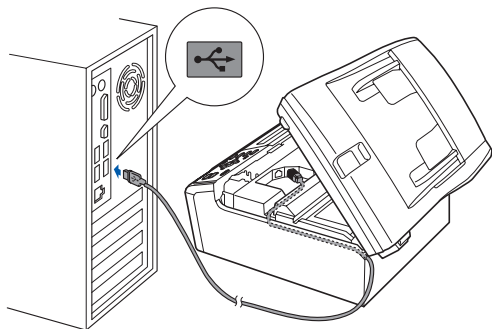
- 以下の画面が表示されたときは、［OK］をクリックし、Windows® をアップデートしてください。パソコンを再起動すると、インストールは自動的に再開されます。

- Windows Vista®/Windows® 7 をお使いの場合、［ユーザーアカウント制御］画面が表示されたときは、［許可］または［はい］をクリックしてください。

4 Presto! PageManager の使用許諾契約の内容を確認して、[はい] をクリックする

Presto! PageManager がインストールされます。Presto! PageManager のインストールが終わると、続いてドライバーとソフトウェアのインストールが始まります。

5 使用許諾契約の内容を確認し、[はい] をクリックする

6 「USB ケーブル」を選び、[次へ] をクリックする

7 パソコンにケーブル接続の画面が表示されたら、本製品とパソコンを USB ケーブルで接続する

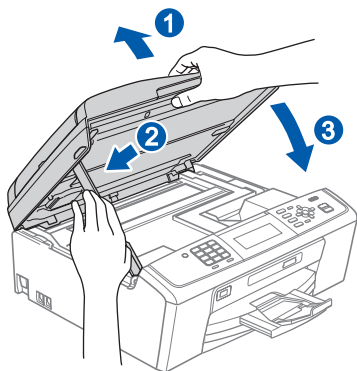
(1) 両手で本体カバーを開いて、本体カバーサポートでしっかり固定される位置まで持ち上げる

(2) 「USB」と書かれた USB ケーブル接続端子に USB ケーブルを接続する

(3) USB ケーブルを本製品の溝におさめ、パソコンに USB ケーブルを接続する

カバーを閉じる際、ケーブルが邪魔にならないようにします。

注意

■ USB ケーブルは、パソコン本体以外の USB ポートや USB ハブなどを経由して接続しないでください。本製品はパソコンに直接接続してください。

(4) **本体カバーを閉じる**

本体カバーを少し持ち上げて固定を解除し❶、本体カバーサポートをゆっくり押して❷、本体カバーを閉じます❸。

注意

● 本体カバーは、手をはさまないように注意して、最後まで両手を離さないようにして閉じてください。

インストールが自動的に開始されます。
インストール中に、ウィンドウが何度も開く場合がありますが、［製品マニュアル］画面が表示されるまで、しばらくお待ちください。

Windows Vista®/Windows® 7 をお使いの場合、［Windows セキュリティ］画面が表示されたら、チェックボックスをクリックして［インストール］をクリックし、インストールを完了させてください。

インストールが開始されない場合は、本製品の電源が入っていることを確認してから、本製品側、パソコン側の両方の USB ケーブルを接続し直してください。
それでもインストールが開始されない場合は、［キャンセル］をクリックして修復インストールを行ってください。
⇒ 25 ページ「ドライバーがうまくインストールできないときは」

8 製品マニュアルをダウンロードする

ダウンロードする場合は［ウェブサイトへアクセス］をクリックして、ダウンロードします。
⇒表紙裏「ユーザーズガイドの構成」
あとでダウンロードする場合はこのまま手順 9 に進みます。

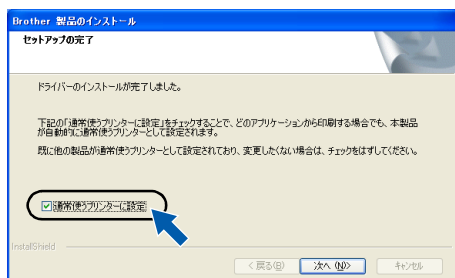
9 ［次へ］をクリックする

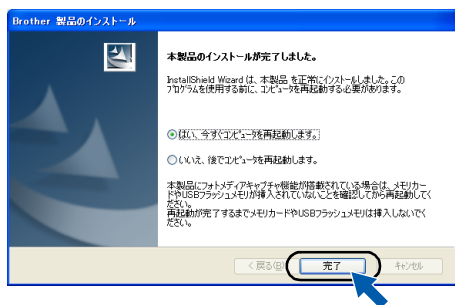
10 ユーザー登録をする

ユーザー登録をする場合は［本ブラザー製品のオンライン登録］をクリックして、ユーザー登録を行います。
あとでユーザー登録をする場合はこのまま手順 11 に進みます。

11 ［次へ］をクリックする

12 本製品を通常使うプリンターに設定しない場合は、チェックを外す

通常使うプリンターに設定する場合は、このまま手順 13 に進みます。

13 ［次へ］をクリックする

14 ［完了］をクリックする

パソコンが再起動します。
Windows® 2000 Professional/XP/XP Professional x64 Edition/Windows Vista®/Windows® 7 を使用している場合は、「アドミニストレーター（Administrator）権限」または「管理者権限」でログインしてください。

15 ファームウェアの更新に関する設定をする

以下の画面が表示されたら、内容を確認して、ファームウェア更新機能の設定を行ってください。

インストールが完了しました。

インストールの際にエラーメッセージが表示されたときは、「インストール診断ツール」を使って、正しくインストールできたか確認してください。「インストール診断ツール」は、スタートメニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［MFC-J615N］－［インストール診断ツール］を選ぶと起動します。

市販のセキュリティソフトでファイアウォール機能が有効に設定されていると、本製品やその他の機能を使用中にセキュリティの許可を促す画面が表示されることがあります。この場合は許可をしてください。

「XML Paper Specification プリンタードライバー」のご案内
XML Paper Specification プリンタードライバーは、XML Paper Specification 文書をプリントするのに適した Windows Vista®、Windows® 7 専用のプリンタードライバーです。
サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードできます。
（http://solutions.brother.co.jp/）

ドライバーがうまくインストールできないときは

ドライバーを手順どおりにインストールできなかった場合は、ドライバー＆ソフトウェア CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットして表示される画面から［カスタムインストール］－［修復インストール］をクリックして、再度インストールし直してください。

Presto! PageManager がうまくインストールできないときは、一度アンインストールをしてから、再度インストールし直してください。

ドライバーをアンインストールするときは

ドライバーをアンインストールするときは、スタートメニューから［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［MFC-J615N］－［アンインストール］の順に選択し、画面の指示に従ってください。

ドライバーとソフトウェアのインストールは終了しました。引き続き、「FaceFilter Studio/BookScan&Whiteboard Suite をインストールする」へ進みます。

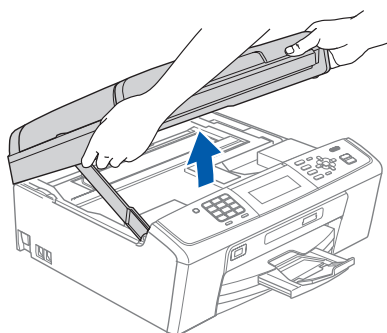
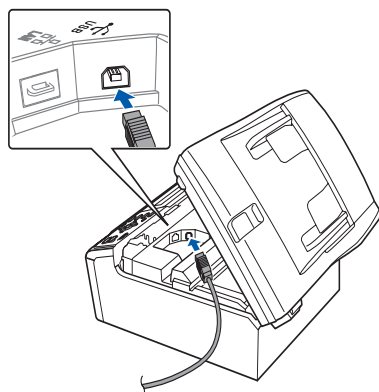
FaceFilter Studio/BookScan&Whiteboard Suite をインストールする（49 ページ）

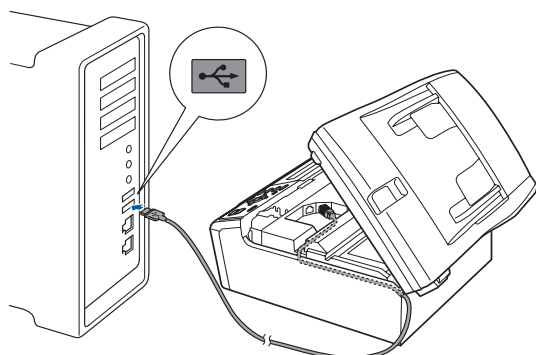
ドライバーとソフトウェアをインストールする（Macintosh の場合）

注意

■ インストールをする前に、「Step1　設置・接続する」のすべての設定が完了していることをご確認ください。
■ メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーが本製品に差し込まれていないことをご確認ください。
■ 起動しているアプリケーションがある場合は、終了させてからインストールを始めてください。
■ 本製品に USB ケーブルと LAN ケーブルを同時につないでご使用になりたい場合は、手順に従って両方のインストールを行ってください。このとき、LAN ケーブルと USB ケーブルをまとめて積み上げ、本体内部の溝におさめてください。（コア付きの USB ケーブルはご使用になれません。）

1 本製品と Macintosh を USB ケーブルで接続する

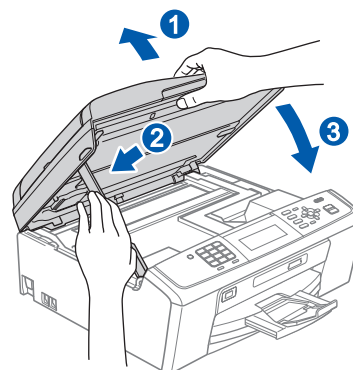
(1) 両手で本体カバーを開いて、本体カバーサポートでしっかり固定される位置まで持ち上げる

(2) 「USB」と書かれた USB ケーブル接続端子に USB ケーブルを接続する

(3) USB ケーブルを本製品の溝におさめ、Macintosh に USB ケーブルを接続する

カバーを閉じる際、ケーブルが邪魔にならないようにします。

注意

■ USB ケーブルは、Macintosh 本体以外の USB ポートや USB ハブなどを経由して接続しないでください。本製品は Macintosh に直接接続してください。

(4) 本体カバーを閉じる

本体カバーを少し持ち上げて固定を解除し❶、本体カバーサポートをゆっくり押して❷、本体カバーを閉じます❸。

⚠ 注意

● 本体カバーは、手をはさまないように注意して、最後まで両手を離さないようにして閉じてください。

2 Macintosh の電源を入れる

Macintosh の管理者権限を持っているユーザーでログインしてください。

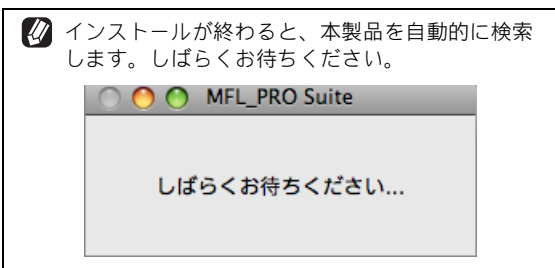
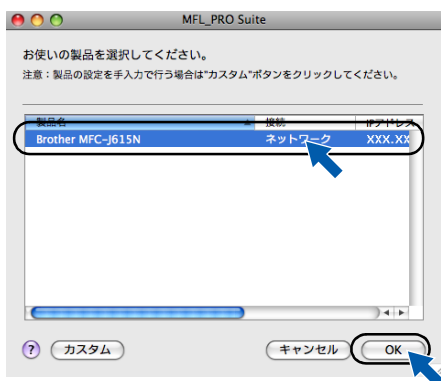
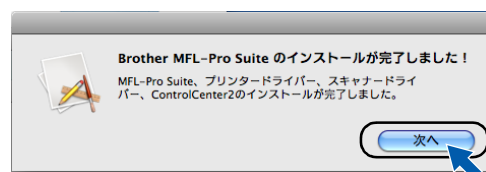
3 付属のドライバー&ソフトウェア CD-ROM を Macintosh の CD-ROM ドライブにセットする

4 「Start Here OSX」をダブルクリックする

画面の指示に従って、インストールを進めてください。

5 「USB ケーブル」を選び、［次へ］をクリックする

6 インストールが終わるまで、しばらく待つ

インストールが終わると、本製品を自動的に検索します。しばらくお待ちください。

7 本製品を選んで、［OK］をクリックする

8 以下の画面が表示されたら、［次へ］をクリックする

ドライバーのインストールが終了しました。
続けて、Presto! PageManager をインストールできます。

9 Presto! PageManager をインストールする場合は、「Presto! PageManager」アイコンをクリックして、ソフトウェアをダウンロードする

画面の指示に従って、インストールを進めてください。
Presto! PageManager をインストールしない場合は、［閉じる］をクリックして終了します。

Presto! PageManager について

Presto! PageManager をインストールすると ControlCenter2 に OCR 機能が追加され、スキャンした文書や画像を管理したり、加工することができます。

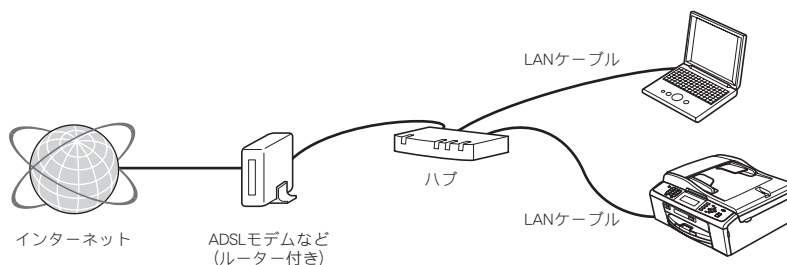
オンラインユーザー登録のご案内（ブラザーマイポータルのご案内）

オンラインでのユーザー登録をお勧めします。最新のドライバーやファームウェアの情報、また各種サポートやキャンペーン情報などを、いちはやくメールでお知らせします。
（https://myportal.brother.co.jp/）

ドライバーとソフトウェアのインストールは終了しました。

有線 LAN 接続

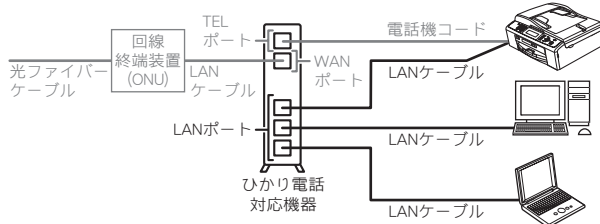
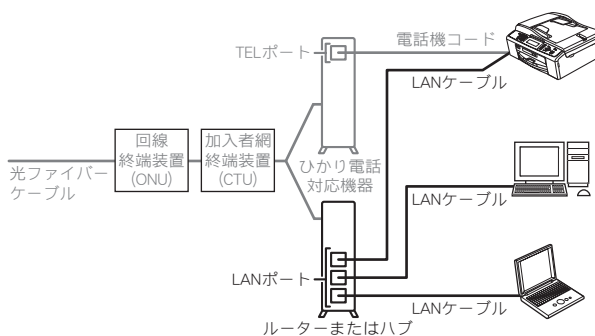
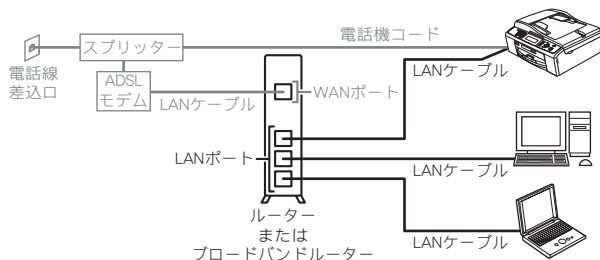
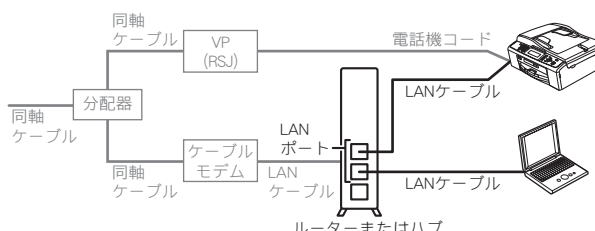
必要な機器とネットワーク環境を確認する

本製品は、LAN ケーブルを使用してネットワーク環境に接続できます。
以下の環境が整っていることを確認してください。対応 OS など、必要な環境については、お使いの接続機器の取扱説明書をご覧ください。

必要な機器

パソコン	パソコンとハブ（HUB）などのネットワーク機器の設定が完了し、パソコンがネットワークに接続できる状態になっていることを確認します。
ハブ（HUB）またはブロードバンドルーター	各機器の LAN ケーブルを接続するハブ（HUB）が必要です。アクセスポイント（ブロードバンドルーターなど）にハブ機能が搭載されているときは、アクセスポイントにも接続できます。
LAN ケーブル	LAN ケーブルは同梱しておりません。カテゴリ 5（100BASE-TX 用）のストレートケーブルをお買い求めの上、お使いください。

接続例

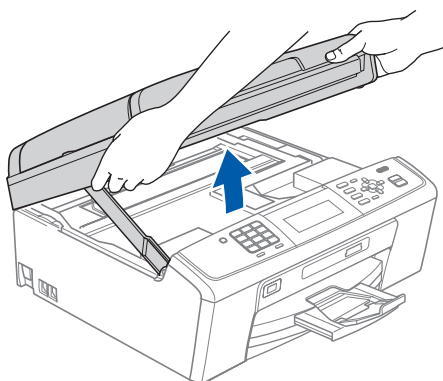
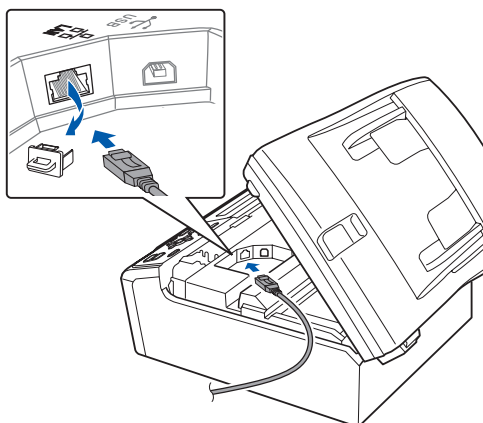
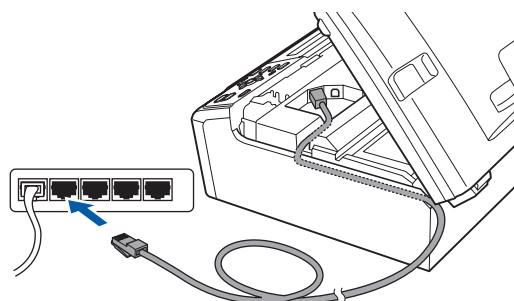
本製品を LAN ケーブルでネットワーク環境に接続する場合の例です。
詳しくは、お使いの接続機器の取扱説明書をご覧ください。

● 光ファイバー環境での接続例
(NTT東日本、KDDIひかり One、Yahoo! BBフォン光など)

● 光ファイバー環境での接続例
(NTT 西日本)

● 一般的な ADSL 環境での接続例

● 一般的な CATV 環境での接続例
(J:COM などのケーブルテレビ局)

注意

■ ADSL モデム、またはひかり電話対応機器（ルーター機能付）の環境に無線 LAN ルーター等を追加接続している場合は、追加のルーターの DHCP 機能等を OFF にしてください。詳しくは、お使いのルーターの取扱説明書をご覧ください。

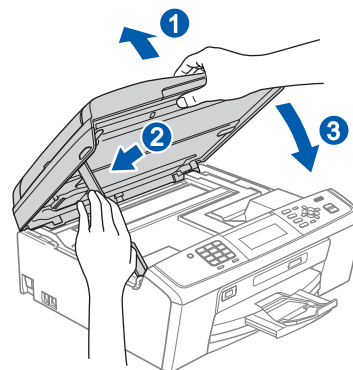
LAN ケーブルを接続する

1 本製品を LAN ケーブルで接続する

(1) 両手で本体カバーを開いて、本体カバーサポートでしっかり固定される位置まで持ち上げる

(2) 「LAN」と書かれた LAN ケーブル接続端子から LAN キャップを外し、LAN ケーブルを接続する

(3) LAN ケーブルを本製品の溝におさめ、ハブまたはルーターの LAN ポートに LAN ケーブルを接続する

接続方法については、お使いの接続機器の取扱説明書をご覧ください。接続例は、⇒ 28 ページ「必要な機器とネットワーク環境を確認する」をご覧ください。

(4) 本体カバーを閉じる

本体カバーを少し持ち上げて固定を解除し❶、本体カバーサポートをゆっくり押して❷、本体カバーを閉じます❸。

注意

- 本体カバーは、手をはさまないように注意して、最後まで両手を離さないようにして閉じてください。

2 画面に【LAN 接続アクティブ】と表示されることを確認する

画面は、数秒後に自動的に待ち受け画面に変わります。

LAN ケーブルの接続が完了しました。引き続き、「ドライバーとソフトウェアをインストールする」へ進みます。

ドライバーとソフトウェアをインストールする（Windows® の場合）（30 ページ）
ドライバーとソフトウェアをインストールする（Macintosh の場合）（34 ページ）

ドライバーとソフトウェアをインストールする（Windows® の場合）

注意

- インストールをする前に、本製品の【有線 / 無線切替え】設定が【有線 LAN】になっていることを確認してください。
  お買い上げ時は、【有線 LAN】に設定されています。
  【有線 / 無線切替え】は、以下の手順で表示される画面で確認できます。
  メニュー を押し、▲/▼ で【ネットワーク】メニューの【有線 / 無線切替え】を選び、OK を押します。
- 本製品は、有線 LAN と無線 LAN の両方に接続できますが、同時に使用することはできません。【有線 / 無線切替え】で設定されている接続が有効になります。
- 市販のセキュリティソフトをお使いの場合は、インストールが正常に行われない可能性があります。インストールする前に、セキュリティソフトを一時的に停止させておくことをお勧めします。
- メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーが本製品に差し込まれていないことを確認してください。
- 起動しているアプリケーションがある場合は、終了させてからインストールを始めてください。

1 パソコンの電源を入れる

Windows® 2000 Professional/XP/
XP Professional x64 Edition/Windows Vista®/
Windows® 7 を使用している場合は、「アドミニストレーター（Administrator）権限」または「管理者権限」でログインします。

2 付属のドライバー&ソフトウェア CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

トップメニューが表示されます。

画面が表示されないときは、「マイコンピュータ（コンピュータ）」から CD-ROM ドライブをダブルクリックし、「start.exe」をダブルクリックしてください。

3 【インストール】をクリックする

注意

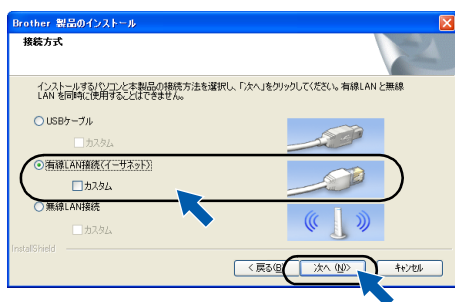
- 以下の画面が表示されたときは、[OK] をクリックし、Windows® をアップデートしてください。パソコンを再起動すると、インストールは自動的に再開されます。

- Windows Vista®/Windows® 7 をお使いの場合、[ユーザーアカウント制御] 画面が表示されたときは、[許可] または [はい] をクリックしてください。

4 Presto! PageManager の使用許諾契約の内容を確認して、[はい] をクリックする

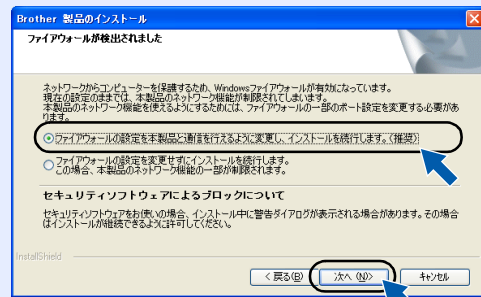
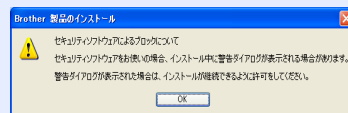
Presto! PageManager がインストールされます。
Presto! PageManager のインストールが終わると、続いてドライバーとソフトウェアのインストールが始まります。

5 使用許諾の内容を確認し、［はい］をクリックする

6 ［有線 LAN 接続（イーサネット）］を選び、［次へ］をクリックする

市販のセキュリティソフトでファイアウォール機能が有効に設定されていると、インストール中にセキュリティの許可を促す画面が表示されることがあります。この場合は許可をしてください。

ドライバーとソフトウェアのインストールが始まります。

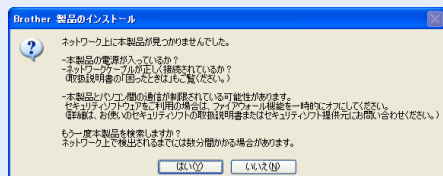
注意

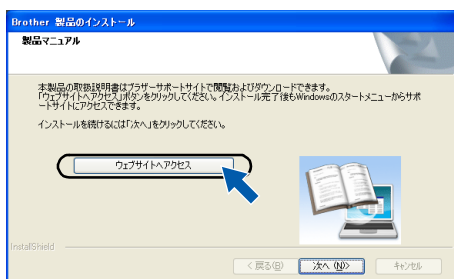
- インストール中に、ウィンドウが何度も開く場合がありますが、手順 7 の［製品マニュアル］画面が表示されるまで、そのまましばらくお待ちください。
- Windows® XP Service Pack 2 以降 / Windows Vista®/ Windows® 7 をお使いの場合で、以下の画面が表示されたときは、［ファイアウォールの設定を本製品と通信を行えるように変更し、インストールを続行します。（推奨）］をクリックして、［次へ］をクリックしてください。

- Windows® のファイアウォール以外のセキュリティソフトをお使いの場合、または Windows® のファイアウォールが無効の場合に以下の画面が表示されたときは、⇒ 56 ページ「セキュリティソフトウェアについて」をご覧ください。

本製品のネットワーク接続の設定が終了している場合は、本製品をリストで選択し、［次へ］をクリックしてください。ネットワーク上の機器が 1 台だけの場合、このウィンドウは表示されず、その機器が自動的に選択されます。

画面の IP アドレス欄に APIPA と表示された場合は、［IP アドレス設定］をクリックし、お使いのネットワーク上での本製品の IP アドレスを入力します。IP アドレスなどを調べるときは、「ネットワーク設定リスト」を印刷します。
⇒ 46 ページ「ネットワーク設定リストを印刷する」

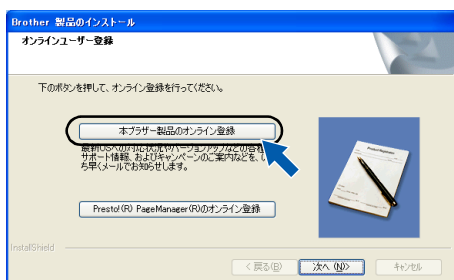
Windows Vista®/Windows® 7 をお使いの場合、［Windows セキュリティ］画面が表示されたら、チェックボックスにチェックを入れ、［インストール］をクリックしてインストールを進めてください。

注意

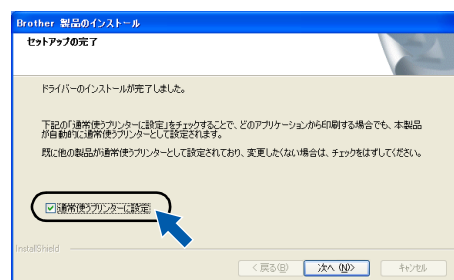
■ 以下の画面が表示されたときは、画面の内容を確認の上、［はい］をクリックして、再度検索を行います。市販のセキュリティソフトをご使用の場合は、一時的にセキュリティ機能を無効にしてからインストールを行ってください。

7 製品マニュアルをダウンロードする

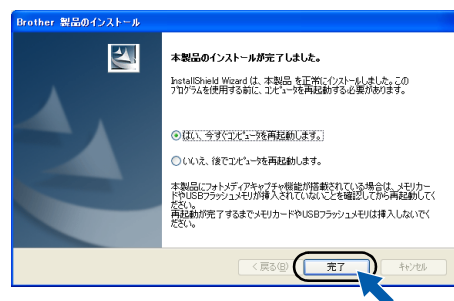
ダウンロードする場合は［ウェブサイトへアクセス］をクリックして、ダウンロードします。
⇒表紙裏「ユーザーズガイドの構成」
あとでダウンロードする場合はこのまま手順 8 に進みます。

8 ［次へ］をクリックする

9 ユーザー登録をする

ユーザー登録をする場合は［本ブラザー製品のオンライン登録］をクリックして、ユーザー登録を行います。
あとでユーザー登録をする場合はこのまま手順 10 に進みます。

10 ［次へ］をクリックする

11 本製品を通常使うプリンターに設定しない場合は、チェックを外す

通常使うプリンターに設定する場合はこのまま手順 12 に進みます。

12 ［次へ］をクリックする

13 ［完了］をクリックする

パソコンが再起動します。
Windows® 2000 Professional/XP/
XP Professional x64 Edition/Windows Vista®/
Windows® 7 を使用している場合は、「アドミニストレーター（Administrator）権限」または「管理者権限」でログインしてください。

14 ファームウェアの更新に関する設定をする

以下の画面が表示されたら、内容を確認して、ファームウェア更新機能の設定を行ってください。

注意

■ インストール完了後、印刷やその他の機能をご使用になるときに、セキュリティ許可を促す画面が表示されることがあります。この場合も許可をしてください。

インストールが完了しました。

インストールの際にエラーメッセージが表示されたときは、「インストール診断ツール」を使って、正しくインストールできたか確認してください。「インストール診断ツール」は、スタートメニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［MFC-J615N LAN］－［インストール診断ツール］を選ぶと起動します。

お使いの環境によっては、本製品の IP アドレスを指定してインストールを行わないと、いくつかの機能が使用できない場合があります。この場合は、本製品の IP アドレスを指定してインストールし直してください。
⇒ユーザーズガイド 基本編「故障かな？と思ったときは（修理を依頼される前に）」

市販のセキュリティソフトでファイアウォール機能が有効に設定されていると、本製品やその他の機能を使用中にセキュリティの許可を促す画面が表示されることがあります。この場合は許可をしてください。

「XML Paper Specification プリンタードライバー」のご案内

XML Paper Specification プリンタードライバーは、XML Paper Specification 文書をプリントするのに適した Windows Vista®、Windows® 7 専用のプリンタードライバーです。

サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードできます。
（http://solutions.brother.co.jp/）

ドライバーをアンインストールするときは

ドライバーをアンインストールするときは、スタートメニューから［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［MFC-J615N LAN］－［アンインストール］の順に選択し、画面の指示に従ってください。

ドライバーとソフトウェアのインストールは終了しました。引き続き、「FaceFilter Studio/BookScan&Whiteboard Suite をインストールする」へ進みます。

「FaceFilter Studio/BookScan&Whiteboard Suite をインストールする」（49 ページ）

ドライバーとソフトウェアをインストールする（Macintosh の場合）

注意

- インストールをする前に、本製品の【有線 / 無線切替え】設定が【有線 LAN】になっていることを確認してください。
  お買い上げ時は、【有線 LAN】に設定されています。
  【有線 / 無線切替え】は、以下の手順で表示される画面で確認できます。
  メニューを押し、▲/▼で【ネットワーク】メニューの【有線 / 無線切替え】を選び、OKを押します。
- 本製品は、有線 LAN と無線 LAN の両方に接続できますが、同時に使用することはできません。【有線 / 無線切替え】で設定されている接続が有効になります。
- メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーが本製品に差し込まれていないことを確認してください。
- 起動しているアプリケーションがある場合は、終了させてからインストールを始めてください。

1 Macintosh の電源を入れる

Macintosh の管理者権限を持っているユーザーでログインしてください。

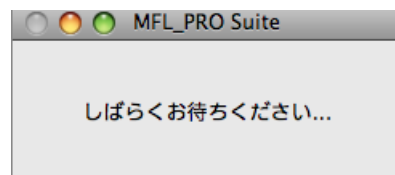
2 付属のドライバー＆ソフトウェア CD-ROM を Macintosh の CD-ROM ドライブにセットする

3 「Start Here OSX」をダブルクリックする

画面の指示に従って、インストールを進めてください。

4 「有線 LAN 接続（イーサネット）」を選び、［次へ］をクリックする

5 インストールが終わるまで、しばらく待つ

インストールが終わると、本製品を自動的に検索します。しばらくお待ちください。

6 本製品を選んで、［OK］をクリックする

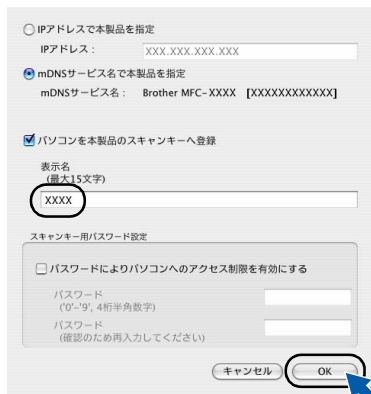
同じモデル名が 2 つ以上ある場合は、MAC アドレス（Ethernet アドレス）から使用する本製品を選択します。MAC アドレスは本製品の画面で確認できます。

有線 LAN 接続用の MAC アドレス（Ethernet アドレス）を調べるときは、以下の手順で表示される画面で確認してください。

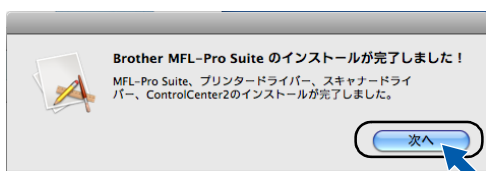
(1) メニューを押し、▲/▼で【ネットワーク】を選び、OKを押す

(2) ▲/▼で【有線 LAN】を選び、OKを押す

(3) ▲/▼で【MAC アドレス】を選び、OKを押す

以下の画面が表示されたときは、[OK] をクリックして、表示名を入力してください。

表示名は、15 文字以内で入力します。

本製品のスキャンキーを押してネットワークスキャン機能を使う場合は、スキャンデータを受信する Macintosh の名前を登録する必要があります。[パソコンを本製品のスキャンキーへ登録] をチェックし、[表示名] に Macintosh の名前を入力してください。
[表示名] に入力した名前が、スキャンキーを押したときに本製品の画面に表示されます。
スキャンキー用パスワード設定の詳細については、下記をご覧ください。
⇒ユーザーズガイド ネットワーク設定編「ネットワークスキャン機能を使用する前に」

7 以下の画面が表示されたら、[次へ] をクリックする

ドライバーのインストールが終了しました。
続けて、Presto! PageManager をインストールできます。

8 Presto! PageManager をインストールする場合は、「Presto! PageManager」アイコンをクリックして、ソフトウェアをダウンロードする

画面の指示に従って、インストールを進めてください。
Presto! PageManager をインストールしない場合は、[閉じる] をクリックして終了します。

Presto! PageManager について

Presto! PageManager をインストールすると ControlCenter2 に OCR 機能が追加され、スキャンした文書や画像を管理したり、加工することができます。

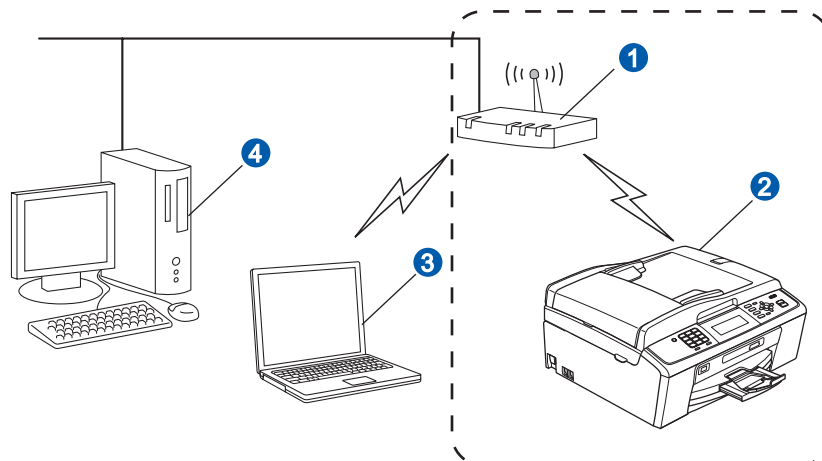
オンラインユーザー登録のご案内（ブラザーマイポータルのご案内）

オンラインでのユーザー登録をお勧めします。最新のドライバーやファームウェアの情報、また各種サポートやキャンペーン情報などを、いちはやくメールでお知らせします。
(https://myportal.brother.co.jp/)

ドライバーとソフトウェアのインストールは終了しました。

無線 LAN 接続

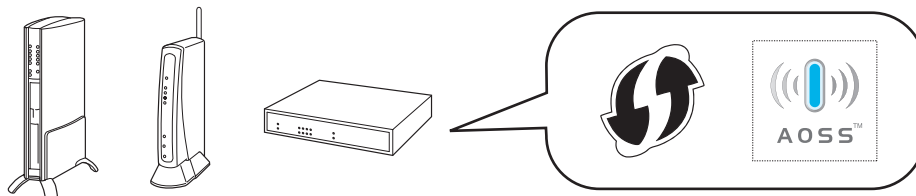
必要な機器と無線 LAN 環境について

本製品は、無線 LAN アクセスポイントを経由する無線 LAN（インフラストラクチャモード）環境に接続できます。以下の環境が整っていることを確認してください。
対応 OS など、必要な環境については、無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。
ここでは、無線 LAN アクセスポイント（❶）と、本製品（❷）を接続する方法について、説明します。

❶ 無線 LAN アクセスポイント
❷ 本製品
❸ パソコン（無線 LAN アクセスポイントと無線で接続）
❹ パソコン（無線 LAN アクセスポイントと有線で接続）

> 本製品は、有線 LAN と無線 LAN を同時に使用することはできません。本製品ネットワークメニューの【有線 / 無線切替え】で設定されている接続が有効になります。

無線 LAN 設定に必要な情報を確認する

1 無線 LAN アクセスポイントが WPS または AOSS™ 機能に対応しているかを確認する

お使いの無線 LAN アクセスポイントに、以下のロゴマークが付いている場合、本製品と無線 LAN アクセスポイント（無線 LAN ルーターなど）の接続・設定を簡単に行うことができます。

WPS または AOSS™ に対応している場合は、⇒ 38 ページ「WPS/AOSS™ 機能を使って無線 LAN の自動設定を行う」へ進み、本製品で設定を行います。
対応していない場合は、操作 に進みます。

2 無線 LAN アクセスポイントの SSID とパスワードを調べ、太枠内に記入する

SSID およびパスワードがわからないままでは、手動設定は行えません。必ず調べてください。

SSID[*1]	
パスワード[*2]	

[*1] SSID：無線ネットワークの名前。ESSID、ESS-ID とも呼ばれています。

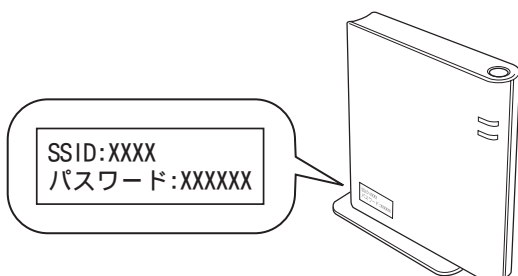
[*2] パスワード：WEP キーや事前共有キー。セキュリティキー、ネットワークキー、暗号化キーとも呼ばれています。

注意

■ SSID とパスワードは本製品からは調べることができません。お使いの無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。それでもわからない場合は、お使いの無線 LAN アクセスポイントのメーカーにお問い合わせください。

SSID とパスワードを確認し、その情報を書き留めたら、⇒ 39 ページ「操作パネルから無線 LAN の手動設定を行う」へ進み、本製品で設定を行います。

無線 LAN セキュリティ情報（ネットワーク名とパスワード）の調べかた

- 初期設定のネットワーク名（SSID）は、無線 LAN アクセスポイントにシールで貼られていたり、無線 LAN アクセスポイントのメーカー名や型番である可能性があります。取扱説明書の記載と照合してください。

- セキュリティ情報の調べかたは、お使いの無線LANアクセスポイントの取扱説明書に記載があります。よくお読みください。
- 上記の方法でセキュリティ情報がわからない場合は、無線 LAN アクセスポイントのメーカー、インターネットプロバイダー、インターネット接続業者、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

無線 LAN に参加させる

WPS/AOSS™ 機能を使って無線 LAN の自動設定を行う

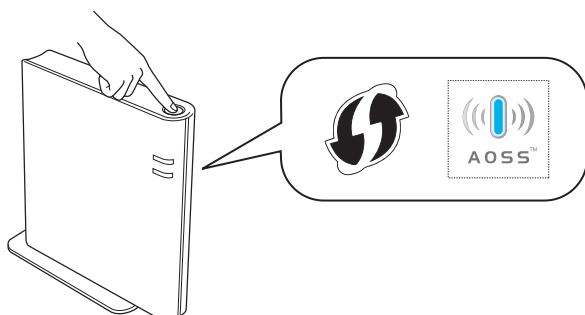
1 **本製品の メニュー を押し、▲/▼で【ネットワーク】を選び、OK を押す**

2 **▲/▼ で【無線 LAN】を選び、OK を押す**

3 **▲/▼ で【WPS/AOSS】を選び、OK を押す**

【無線に切替えますか？】と表示されたら、OK を押してください。

4 **「無線 LAN 設定中」と表示されたら、無線 LAN アクセスポイントの WPS または AOSS™ ボタンを数秒間押す**

ボタンを押したあと、しばらくそのままお待ちください。

詳しい設定方法は、お使いの無線 LAN アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。

WPS または AOSS™ 機能を使って、自動接続が開始されます。

5 **正常に接続できたかを確認する**

正常に接続されると、本体の画面に【接続しました】と表示され、無線 LAN レポートが印刷されます。

接続に失敗した場合は、印刷された無線 LAN レポートのエラーコードを確認の上、下記をご覧ください。
⇒ 51 ページ「無線 LAN アクセスポイントに接続できない」

注意

- 設定がうまくいかない場合は、操作パネルから手動設定します。この場合は、ネットワークに関する情報が必要です。
  ⇒ 37 ページ「無線 LAN 設定に必要な情報を確認する」操作 2

無線 LAN の設定は終了しました。引き続き、「ドライバーとソフトウェアをインストールする」へ進みます。

ドライバーとソフトウェアをインストールする（Windows® の場合）（40 ページ）

ドライバーとソフトウェアをインストールする（Macintosh の場合）（43 ページ）

1 本製品の メニュー を押し、▲/▼ で【ネットワーク】を選び、OK を押す

2 ▲/▼ で【無線 LAN】を選び、OK を押す

3 ▲/▼ で【無線接続ウィザード】を選び、OK を押す

【無線に切替えますか？】と表示されたら、OK を押す

無線接続ウィザードが起動します。
本製品から接続できる無線ネットワークが検索されます。

4 ▲/▼ で 37 ページで書き留めた SSID（無線 LAN のネットワーク名）を選び OK を押す

パスワードの入力画面が表示された場合は、5 へ進みます。

パスワードの入力画面が表示されない場合は、7 へ進みます。

SSID が表示されない場合は、書き留めた内容が正しいかを再度確認してください。
⇒ 37 ページ「無線 LAN セキュリティ情報（ネットワーク名とパスワード）の調べかた」

5 37 ページで書き留めたパスワードを入力し、OK を押す

⇒ユーザーズガイド 基本編「文字の入れかた」

パスワードは、大文字 / 小文字や「0（ゼロ）」/「O（オー）」などに気をつけて、正確に入力してください。

【設定を適用しますか？／はい　⇒ 1 を押してください／いいえ　⇒ 2 を押してください】と表示されます。

6 1 を押す

注意

- お使いのネットワーク環境によっては、接続に数分かかることがあります。

7 正常に接続できたかを確認する

正常に接続されると、本製品の画面に【接続しました】と表示され、無線 LAN レポートが印刷されます。

接続に失敗した場合は、印刷された無線 LAN レポートのエラーコードを確認の上、下記をご覧ください。
⇒ 51 ページ「無線 LAN アクセスポイントに接続できない」

注意

- SSID とパスワードは本製品からは調べることができません。お使いの無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。それでもわからない場合は、お使いの無線LANアクセスポイントのメーカーにお問い合わせください。

無線 LAN の設定は終了しました。引き続き、「ドライバーとソフトウェアをインストールする」へ進みます。

ドライバーとソフトウェアをインストールする（Windows® の場合）（40 ページ）

ドライバーとソフトウェアをインストールする（Macintosh の場合）（43 ページ）

ドライバーとソフトウェアをインストールする（Windows® の場合）

注意

- 市販のセキュリティソフトをお使いの場合は、インストールが正常に行われない可能性があります。インストールする前に、セキュリティソフトを一時的に停止させておくことをお勧めします。
- 起動しているアプリケーションがある場合は、終了させてからインストールを始めてください。

1 パソコンの電源が入っているか確認する

Windows® 2000 Professional/XP/XP Professional x64 Edition/Windows Vista®/Windows® 7 を使用している場合は、「アドミニストレーター（Administrator）権限」または「管理者権限」でログインします。

2 付属のドライバー＆ソフトウェア CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

トップメニューが表示されます。

画面が表示されないときは、「マイコンピュータ（コンピュータ）」から CD-ROM ドライブをダブルクリックし、「start.exe」をダブルクリックしてください。

3 「インストール」をクリックする

注意

- 以下の画面が表示されたときは、[OK] をクリックし、Windows® をアップデートしてください。パソコンを再起動すると、インストールは自動的に再開されます。

- Windows Vista®/Windows® 7 をお使いの場合、[ユーザーアカウント制御] 画面が表示されたときは、[許可] または [はい] をクリックしてください。

4 Presto! PageManager の使用許諾契約の内容を確認して、[はい] をクリックする

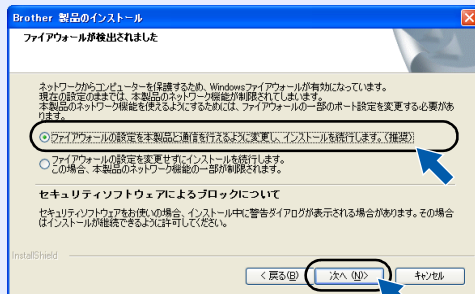
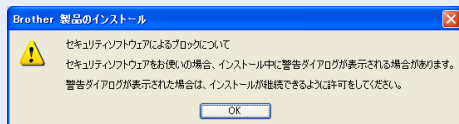
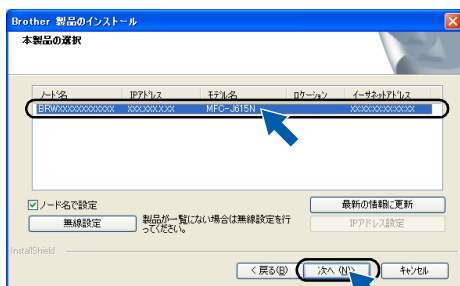
Presto! PageManager がインストールされます。Presto! PageManager のインストールが終わると、続いてドライバーとソフトウェアのインストールが始まります。

5 使用許諾の内容を確認し、[はい] をクリックする

6 [無線 LAN 接続] を選び、[次へ] をクリックする

市販のセキュリティソフトでファイアウォール機能が有効に設定されていると、インストール中にセキュリティの許可を促す画面が表示されることがあります。この場合は許可をしてください。

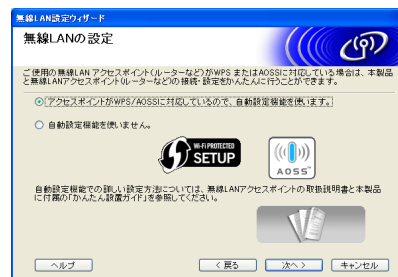
注意

■ Windows® XP Service Pack 2 以降 / Windows Vista®/ Windows® 7 をお使いの場合で、以下の画面が表示されたときは、「ファイアウォールの設定を本製品と通信を行えるように変更し、インストールを続行します。(推奨)」をクリックして、[次へ] をクリックしてください。

■ Windows® のファイアウォール以外のセキュリティソフトをお使いの場合、または Windows® のファイアウォールが無効の場合に以下の画面が表示されたときは、⇒ 56 ページ「セキュリティソフトウェアについて」をご覧ください。

7 本製品をリストで選択し、[次へ] をクリックする

画面の IP アドレス欄に APIPA と表示された場合は、[IP アドレス設定] をクリックし、お使いのネットワーク上での本製品の IP アドレスを入力します。IP アドレスなどを調べるときは、「ネットワーク設定リスト」を印刷します。
⇒ 46 ページ「ネットワーク設定リストを印刷する」

ドライバーとソフトウェアのインストールが始まります。

注意

■ インストール中にウィンドウが何度も開く場合がありますが、次の [製品マニュアル] 画面が表示されるまで、そのまましばらくお待ちください。

以下の画面が表示されたときは、[戻る] をクリックして、再度検索を行います。市販のセキュリティソフトをご使用の場合は、一時的にセキュリティ機能を無効にしてからインストールを行ってください。

それでも検索されない場合は、無線 LAN 接続を設定し直します。
お使いの無線 LAN アクセスポイントが WPS/AOSS™ に対応している場合は、[アクセスポイントが WPS/AOSS に対応しているので、自動設定機能を使います。] をクリックし、[次へ] をクリックします。画面の指示に従って、操作を進めてください。
お使いの無線 LAN アクセスポイントが WPS/AOSS™ に対応していない場合は、[自動設定機能を使いません。] をクリックし、[次へ] をクリックします。表示される画面の指示に従って設定してください。
ノード名や IP アドレスなどを調べるときは、ネットワーク設定リストを印刷します。
⇒ 46 ページ「ネットワーク設定リストを印刷する」

無線 LAN 接続設定が失敗した場合は、[キャンセル] をクリックしてドライバーのインストールを終了し、手動で無線 LAN の設定を行ってください。
⇒ 39 ページ「操作パネルから無線 LAN の手動設定を行う」

暗号化方式が WEP の場合で、上記の画面が表示されるときは、WEP キーが正しく入力されているかを再度確認してください。入力の際は、大文字 / 小文字を正確に入力してください。

Windows Vista®/Windows® 7 をお使いの場合、[Windows セキュリティ] 画面が表示されたら、チェックボックスをクリックして [インストール] をクリックし、インストールを完了させてください。

8 製品マニュアルをダウンロードする

ダウンロードする場合は [ウェブサイトへアクセス] をクリックして、ダウンロードします。
⇒表紙裏「ユーザーズガイドの構成」
あとでダウンロードする場合はこのまま手順 9 に進みます。

9 [次へ] をクリックする

10 ユーザー登録をする

ユーザー登録をする場合は［本ブラザー製品のオンライン登録］をクリックして、ユーザー登録を行います。
あとでユーザー登録をする場合はこのまま手順 11 に進みます。

11 ［次へ］をクリックする

12 本製品を通常使うプリンターに設定しない場合は、チェックを外す

通常使うプリンターに設定する場合はこのまま手順 13 に進みます。

13 ［次へ］をクリックする

14 ［完了］をクリックする

パソコンが再起動します。
Windows® 2000 Professional/XP/
XP Professional x64 Edition/Windows Vista®/
Windows® 7 を使用している場合は、「アドミニストレーター（Administrator）権限」または「管理者権限」でログインしてください。

15 ファームウェアの更新に関する設定をする

以下の画面が表示されたら、内容を確認して、ファームウェア更新機能の設定を行ってください。

注意

■ インストール完了後、印刷やその他の機能をご使用になるときに、セキュリティ許可を促す画面が表示されることがあります。この場合も許可をしてください。

インストールが完了しました。

インストールの際にエラーメッセージが表示されたときは、「インストール診断ツール」を使って、正しくインストールできたかを確認してください。「インストール診断ツール」は、スタートメニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［MFC-J615N LAN］－［インストール診断ツール］を選ぶと起動します。

市販のセキュリティソフトでファイアウォール機能が有効に設定されていると、本製品やその他の機能を使用中にセキュリティの許可を促す画面が表示されることがあります。この場合は許可をしてください。

お使いの環境によっては、本製品の IP アドレスを指定してインストールを行わないと、いくつかの機能が使用できない場合があります。この場合は、本製品の IP アドレスを指定してインストールし直してください。
⇒ユーザーズガイド 基本編「故障かな？と思ったときは（修理を依頼される前に）」

「XML Paper Specification プリンタードライバー」のご案内
XML Paper Specification プリンタードライバーは、XML Paper Specification 文書をプリントするのに適した Windows Vista®、Windows® 7 専用のプリンタードライバーです。サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードできます。
（http://solutions.brother.co.jp/）

ドライバーをアンインストールするときは

ドライバーをアンインストールするときは、スタートメニューから［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［MFC-J615N LAN］－［アンインストール］の順に選択し、画面の指示に従ってください。

ドライバーとソフトウェアのインストールは終了しました。引き続き、「FaceFilter Studio/BookScan&Whiteboard Suite をインストールする」へ進みます。

「FaceFilter Studio/BookScan&Whiteboard Suite をインストールする」（49 ページ）

ドライバーとソフトウェアをインストールする（Macintosh の場合）

注意

■ 起動しているアプリケーションがある場合は、終了させてからインストールを始めてください。

1 Macintosh の電源が入っているか確認する

Macintosh の管理者権限を持っているユーザーでログインしてください。

2 付属のドライバー&ソフトウェア CD-ROM を Macintosh の CD-ROM ドライブにセットする

3 「Start Here OSX」をダブルクリックする

画面の指示に従って、インストールを進めてください。

4 ［無線 LAN 接続］を選び、［次へ］をクリックする

暗号化方式が WEP の場合で、本製品が見つからないときは、WEP キーが正しく入力されているかを再度確認してください。入力の際は、大文字 / 小文字を正確に入力してください。

以下の画面が表示されたときは、無線 LAN 接続を設定し直します。

お使いの無線 LAN アクセスポイントが WPS/AOSS™ に対応している場合は、［アクセスポイントが WPS/AOSS に対応しているので、自動設定機能を使います。］をクリックし、［次へ］をクリックします。画面の指示に従って、操作を進めてください。

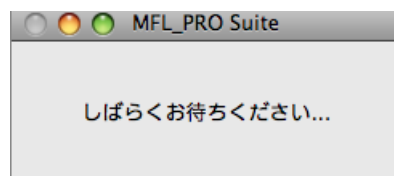
お使いの無線 LAN アクセスポイントが WPS/AOSS™ に対応していない場合は、［自動設定機能を使いません。］をクリックし、［次へ］をクリックします。表示される画面の指示に従って設定してください。

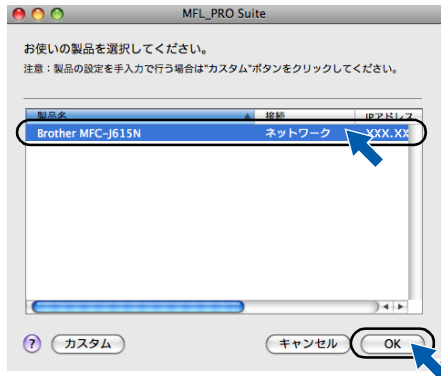
ノード名などを調べるときは、ネットワーク設定リストを印刷します。

⇒ 46 ページ「ネットワーク設定リストを印刷する」

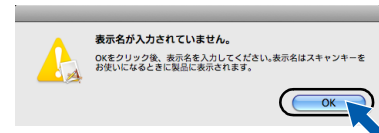
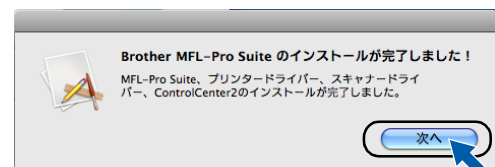
無線 LAN 接続設定が失敗した場合は、［キャンセル］をクリックしてドライバーのインストールを終了し、手動で無線 LAN の設定を行ってください。

⇒ 39 ページ「操作パネルから無線 LAN の手動設定を行う」

5 インストールが終わるまで、しばらく待つ

インストールが終わると、本製品を自動的に検索します。しばらくお待ちください。

❻ 本製品を選んで、[OK] をクリックする

- 同じモデル名が 2 つ以上ある場合は、MAC アドレス(Ethernet アドレス) から使用する本製品を選択します。MAC アドレスは本製品の画面で確認できます。

> 無線 LAN 接続用の MAC アドレス（Ethernet アドレス）を調べるときは、以下の手順で表示される画面で確認してください。
>
> (1) メニュー を押し、▲/▼ で【ネットワーク】を選び、OK を押す
>
> (2) ▲/▼ で【無線 LAN】を選び、OK を押す
>
> (3) ▲/▼ で【MAC アドレス】を選び、OK を押す

- 上記の画面上に本製品が見つからない場合は、もう一度無線 LAN の設定を行ってください。
⇒ 39 ページ「操作パネルから無線 LAN の手動設定を行う」
- 現在のネットワーク設定は、「ネットワーク設定リスト」で確認できます。
⇒ 46 ページ「ネットワーク設定リストを印刷する」

> 以下の画面が表示されたときは、[OK] をクリックして、表示名を入力してください。
>
>
>
>
> 表示名は、15 文字以内で入力します。
>
>
>
>
> 本製品のスキャンキーを押してネットワークスキャン機能を使う場合は、スキャンデータを受信する Macintosh の名前を登録する必要があります。[パソコンを本製品のスキャンキーへ登録] をチェックし、[表示名] に Macintosh の名前を入力してください。
> [表示名] に入力した名前が、スキャンキーを押したときに本製品の画面に表示されます。
> スキャンキー用パスワード設定の詳細については、下記をご覧ください。
> ⇒ユーザーズガイド ネットワーク設定編「ネットワークスキャンの設定」

❼ 以下の画面が表示されたら、[次へ] をクリックする

ドライバーのインストールが終了しました。
続けて、Presto! PageManager をインストールできます。

8 Presto! PageManager をインストールする場合は、「Presto! PageManager」アイコンをクリックして、ソフトウェアをダウンロードする

画面の指示に従って、インストールを進めてください。

Presto! PageManager をインストールしない場合は、［閉じる］をクリックして終了します。

Presto! PageManager について

Presto! PageManager インストールすると ControlCenter2 に OCR 機能が追加され、スキャンした文書や画像を管理したり、加工することができます。

オンラインユーザー登録のご案内（ブラザーマイポータルのご案内）

オンラインでのユーザー登録をお勧めします。最新のドライバーやファームウェアの情報、また各種サポートやキャンペーン情報などを、いちはやくメールでお知らせします。
（https://myportal.brother.co.jp/）

ネットワーク設定の確認と初期化

ネットワーク設定リストを印刷する

ネットワーク設定を確認するための、ネットワーク設定リストを印刷します。

接続方法を確認する

ネットワーク設定リストは、【有線 / 無線切替え】で選択されている接続の情報が印刷されるため、あらかじめ使用する接続方法に正しく切り替えられていることを確認してください。確認、切り替え手順は以下のとおりです。

(1) メニュー を押し、▲/▼ で【ネットワーク】を選び、OK を押す

(2) ▲/▼ で【有線 / 無線切替え】を選び、OK を押す

◆ 現在の設定が表示されます。

(3) 設定を切り替える場合は、▲/▼ で【有線 LAN】または【無線 LAN】を選び、OK を押す

(4) 停止/終了 を押す

1 **メニュー を押し、▲/▼ で【レポート印刷】を選び、OK を押す**

2 **▲/▼ で【ネットワーク設定リスト】を選び、OK を押す**

3 **モノクロ スタート を押す**

ネットワーク設定リストが印刷されます。

ネットワーク接続状態を確認する

ネットワーク設定リストの項目を確認します。

```
<<NETWORK CONFIGURATION>>

<Node Type>                  Brother NC-XXXXh, Ethernet 10/100BASE-TX (Active)
<MAC Address>                00-80-77-8a-89-4a
<Node name>                  BRN8A894A

<Active services>            BRN8A894A_P1
                             BINARY_P1
                             TEXT_P1
                             POSTSCRIPT_P1
                             PCL_P1
                             BRN8A894A_P1_AT

<Protocols>
 TCP/IP          Enabled          IPv6           Disabled
 NetBIOS/IP      Enabled          APIPA          Enabled
 HTTP Port80     Enabled          IPP Port631    Enabled
 HTTPS Port443   Disabled         POP3/SMTP      Enabled
 FTP             Enabled          TFTP           Enabled
 mDNS            Enabled          SNMP           Enabled
 LegacyAuth      Enabled          TELNET         Enabled
 LPD             Enabled          Raw Port       Enabled
 LDAP            Disabled         LLTD           Disabled
 Net Scan        Enabled          PC-FAX         Enabled
 Remote Setup    Enabled          WebServices    Enabled

 IP Address                  192.168.100.250  (set manually)
 Subnet Mask                 255.255.255.0
 Boot Method                 STATIC
 Boot Tries                  3
 IP Filter                   Disabled

 GW Timeout (sec)            5
 DNS Address Config          AUTO
 Primary DNS Server          192.168.3.1
 Secondary DNS Server        133.151.111.103

<NetBIOS Name>               BRN8A894A
<WINS Address Config>        AUTO
<Primary WINS Server>        133.151.111.102
<Secondary WINS Server>      133.151.111.103

<Printer Mail Address>       xxxx@xxxx.com
<SMTP Server>                133.151.236.10
<SMTP Port>                  25
<POP3 Server>                0.0.0.0
<POP3 Port>                  110
<POP3 Polling Freq. (sec)>   600

<mDNS Service Name>          Brother MFC-XXXX  [0080778a894a]

<WebServices Name>           Brother MFC-XXXX  [0080778a894a]

<Certificate>
 Status                      None

<Ethernet Link Status>       Link OK, 100baseTX FDX  #Link drops=0

<Network Statistics>
Packets Received          684307
Bad Packets Received           0
Receiver overruns              0
Packets Transmitted        48816
Transmit packet fail           0
Packet Collisions              0
```

① <MAC Address>

機械固有の番号です。
Ethernet Address とも呼ばれています。

② <Node name>

アドレスを指定する名称です。
「BRN」で始まる場合は有線 LAN、「BRW」で始まる場合は無線 LAN であることを示します。

③ <IP Address>

ネットワーク上に登録された本製品の番号を示します。

> 「0.0.0.0」が印刷された場合は、本製品がまだ起動中です。約 1 分待ってからもう一度ご確認ください。
> または、有線 LAN 接続の場合、LAN ケーブルが本製品に接続されていません。接続を確認してからもう一度ご確認ください。

④ <Subnet Mask>

IP Address（IP アドレス）に被せるマスクと考えてください。
通常は「255.255.255.0」であれば問題ありません。

> 「0.0.0.0」が印刷された場合は、本製品がまだ起動中です。約 1 分待ってからもう一度ご確認ください。
> または、有線 LAN 接続の場合、LAN ケーブルが本製品に接続されていません。接続を確認してからもう一度ご確認ください。

⑤ <Ethernet Link Status>：有線 LAN の接続状態を示します。
<Wireless Link Status>：無線 LAN の接続状態を示します。
「Link OK」と印刷されていれば正常に接続されています。

> 有線 LAN の場合は「LINK DOWN」、無線 LAN の場合は「Failed To Associate」と印刷されたときは、正しく接続されていません。ケーブルやハブ（HUB）を確認してください。

ネットワーク設定を初期化する

ネットワークの設定に失敗した場合や、再度インストールし直す場合は、下記の手順で本製品のネットワーク設定を初期化してから、再度ネットワークの設定を行ってください。

1 メニュー **を押す**

2 ▲/▼ **で【ネットワーク】を選び、**OK**を押す**

または、▲/▼ で【初期設定】を選び OK を押し、▲/▼ で【設定リセット】を選び OK を押します。

3 ▲/▼ **で【ネットワーク設定リセット】を選び、**OK**を押す**

4 1 あ **を押す**

5 **もう一度** 1 あ **を押す**

数秒後に本製品が再起動します。再起動が終わるまで、しばらくお待ちください。

ネットワークユーティリティ

BRAdmin Light をインストールする

BRAdmin Light は、ネットワークプリンターなど、ネットワーク環境に接続された製品の設定を行うソフトウェアです。

ネットワークの設定方法について

BRAdmin Light を使ってネットワークを設定する方法については、下記をご覧ください。
⇒ユーザーズガイド ネットワーク設定編「BRAdmin Light で設定する」

Windows® の場合

Windows® の場合は、あらかじめ BRAdmin Light をインストールする必要があります。インストール後は、SNMP（簡易ネットワーク管理プロトコル）に対応している製品であれば、他社製品の管理も一括して行えます。

1 付属のドライバー&ソフトウェア CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

トップメニューが表示されます。

画面が表示されないときは、「マイコンピュータ（コンピュータ）」から CD-ROM ドライブをダブルクリックし、「start.exe」をダブルクリックしてください。

2 「トップメニュー」画面の［カスタムインストール］をクリックする

3 ［ネットワークユーティリティ］をクリックする

4 ［BRAdmin Light］をクリックする

画面の指示に従って、インストールを進めてください。

Windows® で「インターネット接続ファイアウォール」が有効に設定されている場合は、BRAdmin Light を利用できません。ご利用される場合は、ファイアウォールの機能を無効にしてください。

Macintosh の場合

Macintosh の場合は、ドライバーをインストールすると、BRAdmin Light も自動的にインストールされます。
本製品の IP アドレスは、ネットワーク上の DHCP サーバーによって自動で設定されるのが通常ですが、自動で設定されない場合は、以下の手順に従って BRAdmin Light で設定してください。
詳しくは、下記をご覧ください。
⇒ユーザーズガイド ネットワーク設定編「BRAdmin Light で設定する」

1 デスクトップ上の［Macintosh HD］から、［ライブラリ］－［Printers］－［Brother］－［Utilities］－［BRAdmin Light.jar］を選ぶ

BRAdmin Light が起動し、自動的に新しいデバイスを検索します。

2 本製品をダブルクリックする

3 ［IP アドレス］［サブネットマスク］［ゲートウェイ］を入力し、［OK］をクリックする

IP アドレスなどの情報が、本製品に保存されます。

その他のソフトウェアをインストールする（Windows® のみ）

FaceFilter Studio/ BookScan&Whiteboard Suite をインストールする

FaceFilter Studio は、簡単に写真をふちなし印刷できる Reallusion, Inc のソフトウェアです。赤目を修正したり、明るさを自動調整することができます。

BookScan&Whiteboard Suite は、以下の 2 つの機能を持った Reallusion, Inc のソフトウェアです。

- スキャン画像の補正
  スキャンした本の画像の影や傾きを自動補正します。
- ホワイトボードの画像化
  デジタルカメラで撮影されたホワイトボードの画像を自動補正します。

注意

- ■ 管理者権限を持っているユーザーでログインしてください。
- ■ FaceFilter Studio をはじめて起動する前に、以下のことを確認してください。
  - ・ドライバーやソフトウェアのインストールが完了していること。
  - ・本製品の電源が入っていること。
  - ・本製品とパソコンが接続されていること。
- ■ BookScan&Whiteboard Suite は、インストールの際にインターネットへの接続が必要です。
  本製品の電源を入れ、パソコンに接続した状態でインストールを行ってください。また、パソコンがインターネットに接続できることを確認してください。
- ■ Windows Server® 2003/2003 x64 Edition/2008 を使用している場合は、FaceFilter Studio/ BookScan&Whiteboard Suite は利用できません。

1 「マイコンピュータ（コンピュータ）」から CD-ROM ドライブをダブルクリックする

トップメニューが表示されます。

画面が表示されないときは、CD-ROM ドライブをダブルクリックしたあと、「start.exe」をダブルクリックしてください。

2 「トップメニュー」画面の［その他ソフトウェア］をクリックする

3 ［FaceFilter Studio］をクリックする

画面の指示に従って、インストールを進めてください。

FaceFilter Studio のインストールが終了しました。

4 ［BookScan&Whiteboard Suite］をクリックする

画面の指示に従って、インストールを進めてください。

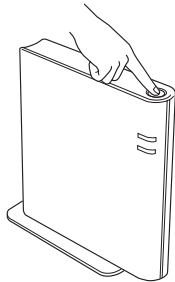
BookScan&Whiteboard Suite のインストールが終了しました。

FaceFilter Studio の使いかたについて

FaceFilter Studio を使ってふちなし印刷などをする方法については、下記をご覧ください。
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「FaceFilter Studio で写真をプリントする」

うまくインストールできないときは、一度そのソフトウェアをアンインストールしてから、再度インストールし直してください。

困ったときは（トラブル対処方法）

ネットワークに関するトラブルが発生したときの対応方法について説明しています。
該当する問題のページをご覧ください。

無線 LAN アクセスポイントに接続できない

無線 LAN レポートのエラーコードを確認してください。エラーコードの意味と解決方法は、以下のとおりです。

エラーコード	意味	解決方法
TS-01	無線 LAN 設定が有効になっていない。または、LAN ケーブルが接続されている。	本製品に LAN ケーブルがつながっている場合は抜いてください。 また、本製品の無線 LAN 設定を有効にしてください。 (1) メニュー を押し、▲/▼ で【ネットワーク】を選び、OK を押す (2) ▲/▼ で【有線 / 無線切替え】を選び、OK を押す (3) ▲/▼ で【無線 LAN】を選び、OK を押す
TS-02	無線LANアクセスポイントがみつかりませんでした。	● 無線 LAN アクセスポイントの電源は入っていますか？ 電源を入れてください。 ● 無線 LAN アクセスポイントが正常に動作していますか？ 無線 LAN を内蔵したパソコンでインターネットに接続できるかお試しください。 接続できない場合は、無線 LAN アクセスポイントが正常に動作していない可能性があります。 ● 無線 LAN アクセスポイントと本製品が離れ過ぎていませんか？間に障害物がありませんか？ 本製品を見通しの良い場所へ移動させたり、できるだけ無線 LAN アクセスポイントに近づけてください。 また、セットアップ時は 1m 以内に近づけてお試しください。 ● 近くに無線 LAN に影響を及ぼすものはありませんか？ 本製品の近くに、ほかの無線 LAN アクセスポイントやパソコン、短距離無線通信機器対応機器、電子レンジ、デジタルコードレス電話がある場合は離してください。 ● 無線 LAN のセキュリティ情報（SSID、パスワード）は正しいですか？ 無線 LAN のセキュリティ情報（SSID、パスワード）を確認し、手動で無線 LAN を設定し直してください。 ⇒ 37 ページ「無線 LAN セキュリティ情報（ネットワーク名とパスワード）の調べかた」 ⇒ 39 ページ「操作パネルから無線 LAN の手動設定を行う」

<table>
<tr><th>エラーコード</th><th>意味</th><th>解決方法</th></tr>
<tr><td>TS-02</td><td>無線LANアクセスポイントがみつかりませんでした。</td><td>
● アクセス制限を設定していませんか？
無線 LAN アクセスポイントの MAC アドレスフィルタリング機能を使用している場合は、本製品の MAC アドレスを無線 LAN アクセスポイントに登録して、通信を許可してください。

本製品の MAC アドレスは、以下の手順で表示される画面で確認してください。有線 LAN と無線 LAN では、MAC アドレスが異なりますので注意してください。
(1) メニュー を押し、▲/▼ で【ネットワーク】を選び、OK を押す
(2) ▲/▼ で【無線 LAN】を選び、OK を押す
(3) ▲/▼ で【MAC アドレス】を選び、OK を押す

● 無線 LAN のセキュリティ情報（SSID、認証方式、暗号化方式、暗号化キー（パスワード））の設定は正しいですか？
手動で設定した場合、間違って入力されているかもしれません。正しい無線 LAN のセキュリティ情報を確認して、設定し直してください。
⇒ 37 ページ「無線 LAN セキュリティ情報（ネットワーク名とパスワード）の調べかた」
● SSID（ネットワーク名）を表示させない設定にしていませんか？
無線 LAN アクセスポイントが SSID の隠ぺい（SSID ステルスモード）に設定されているときは、本製品から無線 LAN アクセスポイントの SSID を自動的に見つけることができません。操作パネルから SSID を入力してください。設定のしかたについては、下記をご覧ください。
⇒ユーザーズガイド ネットワーク設定編「SSID が隠ぺいされている場合」
</td></tr>
<tr><td>TS-04</td><td>無線LANアクセスポイントで使用されている認証方式、暗号化方法を、本製品はサポートしておりません。</td><td>
無線 LAN アクセスポイントの認証方式と暗号化方式を変更してください。
インフラストラクチャモードの無線 LAN 環境の場合、本製品がサポートする無線 LAN アクセスポイントの認証方式、暗号化方式は以下のとおりです。
<table>
<tr><th>認証方式</th><th>暗号化方式</th></tr>
<tr><td rowspan="2">WPA-PSK</td><td>TKIP</td></tr>
<tr><td>AES</td></tr>
<tr><td>WPA2-PSK</td><td>AES</td></tr>
<tr><td rowspan="2">オープンシステム認証</td><td>WEP</td></tr>
<tr><td>なし</td></tr>
<tr><td>共有キー認証</td><td>WEP</td></tr>
</table>
サポートされている認証方式、暗号化方法に変更しても解決しないときは、無線 LAN のセキュリティ情報が正しく設定されていません。正しい情報を確認して、設定し直してください。
⇒ 37 ページ「無線 LAN セキュリティ情報（ネットワーク名とパスワード）の調べかた」
</td></tr>
<tr><td>TS-05</td><td>SSID とパスワードの設定が間違っています。</td><td>
● 無線 LAN のセキュリティ情報（SSID、パスワード）の設定は正しいですか？
パスワードは、大文字、小文字は区別されます。認証されないときは、パスワードが間違っていないか確認してください。
※ 無線 LAN アクセスポイントに複数の WEP キー（WEP キー 1、WEP キー 2、WEP キー 3、WEP キー 4 など）を設定している場合、本製品では 1 番目の WEP キーのみ使用できます。
※ 無線 LAN アクセスポイントが SSID の隠ぺい（SSID ステルスモード）に設定されているときは、本製品から無線 LAN アクセスポイントの SSID を自動的に見つけることができません。操作パネルから SSID を入力してください。設定のしかたについては、下記をご覧ください。
⇒ユーザーズガイド ネットワーク設定編「SSID が隠ぺいされている場合」
</td></tr>
</table>

エラーコード	意味	解決方法
TS-06	無線 LAN のセキュリティ情報（認証方式、暗号化方式、暗号化キー（パスワード））の設定が間違っています。	● **無線 LAN のセキュリティ情報（認証方式、暗号化方式、暗号化キー（パスワード））の設定は正しいですか？** 正しい無線 LAN のセキュリティ情報（認証方式 / 暗号化方式 / 暗号化キー（パスワード））を確認して、設定し直してください。 ※ 無線 LAN アクセスポイントに複数の WEP キー（WEP キー 1、WEP キー 2、WEP キー 3、WEP キー 4 など）を設定している場合、本製品では 1 番目の WEP キーのみ使用できます。
TS-07	WPS/AOSS™ を実行している無線LANアクセスポイントが見つかりません。	WPS または AOSS™ 対応の無線 LAN アクセスポイントを使用している場合、本体と無線 LAN アクセスポイントの両方の操作が必要です。 無線LAN アクセスポイントの操作方法は、お使いの無線LAN アクセスポイントの取扱説明書をご覧いただくか、お使いの無線 LAN アクセスポイントのメーカー、またはネットワーク管理者にお問い合わせください。 ● **お使いの無線 LAN アクセスポイントは、WPS 機能または AOSS™ 機能対応機器ですか？** WPS/AOSS™ 機能対応機器は、無線 LAN アクセスポイントに右記のようなロゴマークが貼り付けられていたり、パッケージや取扱説明書に記載があります。 お使いの無線 LAN アクセスポイントが、WPS または AOSS™ 機能対応機器であることを確認してください。 AOSS™
TS-08	WPS/AOSS™ を実行している無線LANアクセスポイントが複数見つかりました。	近くで別の WPS/AOSS™ の設定が行われています。干渉を避けるため、数分後にやり直してください。 ● **近くで別の無線機器を使用していませんか？** 近隣などですでに別の無線機器が導入されているときは、電波干渉を避けるために無線 LAN アクセスポイントのチャンネル番号をできるだけ離して（推奨：チャンネル番号 5 以上）設定してください。

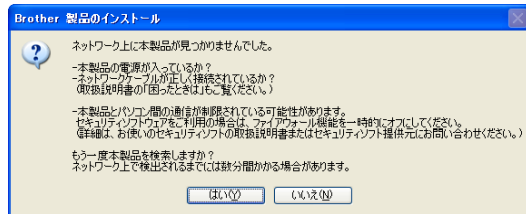
無線 LAN レポートは、無線 LAN 設定時以外でも以下の手順で印刷して確認できます。

(1) メニュー を押し、▲/▼ で【レポート印刷】を選び、OK を押す

(2) ▲/▼ で【無線 LAN レポート】を選び、OK を押す

(3) モノクロ スタート を押す

設置・接続する
パソコンに接続する
USB接続 Windows® Macintosh
有線LAN接続 Windows® Macintosh
無線LAN接続 Windows® Macintosh
困ったときは
付録

インストール時、ネットワーク上に本製品が見つからない

以下の手順で確認してください。

1 お使いのパソコンから本製品までの接続機器が正常に稼働しているかを確認する

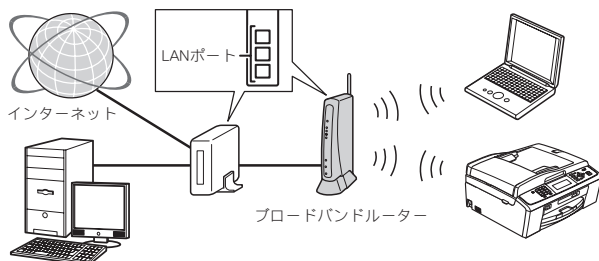
⇒ 54 ページ「ネットワーク機器に問題がないか調べるには」

2 セキュリティソフトによってブロックされていないかを確認する

⇒ 56 ページ「セキュリティソフトウェアについて」

3 設定しているネットワーク情報（IP アドレス）に誤りがないかを確認する

⇒ 56 ページ「ネットワークの設定がうまくいかないときは」

ブロードバンドルーターを追加してお使いの場合は、ブロードバンドルーターが正しく設定されているかを確認してください。
以下の接続のように、複数の LAN ポートが付いているネットワーク機器が 2 台以上ある場合、ブロードバンドルーターの設定を変更することで解決できることがあります。

※ ブロードバンドルーターのメーカーへ、ブリッジモードへの変更方法をお問い合わせください。
変更方法はブロードバンドルーターの取扱説明書に記載されている場合もあります。
お問い合わせの際は、以下のことをお伝えください。
- パソコンから本製品が見つからない。
- パソコンはインターネットに接続できている。
- 本製品とブロードバンドルーターは接続できている。
（有線 LAN の場合は LAN ケーブルが接続している。
無線 LAN の場合は無線 LAN レポートに
「Connection:OK」と記載されている。）

ネットワーク機器に問題がないか調べるには

お使いのパソコンから本製品までの接続機器が正常に稼動しているか、以下を確認してください。

● **本製品の電源は入っていますか？**

電源を入れて、印刷できる状態であることを確認します。エラーが出ている場合は、別冊の「ユーザーズガイド 基本編」の「こんなときは」を参照してエラーを解除してください。

● **パソコンとアクセスポイントがネットワークに接続できていますか？**

インターネット閲覧や E メールなどの機能が正常に動作しているかを確認してください。

● **接続方法を変更していませんか？**

接続方法を変更したときは、使用する接続方法に切り替えてください。

⇒ 46 ページ「接続方法を確認する」

● **有線 LAN の場合**
接続したルーターやハブ（HUB）のランプは点灯 / 点滅していますか？

一般的に、ルーター / ハブ（HUB）には接続状態を示すリンクランプがあり、点灯 / 点滅で接続状態を確認できます。本製品を接続している LAN ポートのリンクランプを確認します。

ランプが点灯 / 点滅している場合

接続には問題ありません。

ランプが点灯 / 点滅していない場合

接続に問題があるようです。以下を確認してください。

- **ハブ（HUB）またはルーターなどの LAN ポートにパソコンと本製品が正しく接続されていますか？**
  接続されていない場合は正しく接続し直してください。
  ストレートケーブル以外は使用しないでください。ほかのケーブルで接続し直してください。
- **ほかの LAN ポートに接続し直したり、ほかの LAN ケーブルに差し換えてお試しください。**
  それでも点灯 / 点滅しない場合は、ハブ（HUB）または、ルーターのメーカーにご相談ください。

● 無線 LAN の場合
「無線 LAN アクセスポイントに接続できない」のエラーコードに当てはまるものはありませんか？
⇒51ページ「無線LANアクセスポイントに接続できない」

- **アクセス制限セキュリティがかかっているか調べる**
無線 LAN アクセスポイント（無線 LAN ルーターなど）によっては、登録した機器しか通信させない「MAC アドレスフィルタリング」という、アクセス制限のセキュリティがかかっていることがあります。その場合、本製品の情報をあらかじめ無線 LAN アクセスポイントに登録して、本製品からのアクセスを許可させる必要があります。登録のため、本製品の MAC アドレス（機械固有の番号）が必要になったときは、以下の手順で表示される画面で確認してください。
(1) メニュー を押し、▲/▼ で【ネットワーク】を選び、OK を押す
(2) ▲/▼ で【無線 LAN】を選び、OK を押す
(3) ▲/▼ で【MAC アドレス】を選び、OK を押す
- 無線LANアクセスポイントのAOSS™ボタンを押して設定を行っている間は、すでにご利用中の無線機器が一時的に通信できなくなります。例えば、ゲーム機などを無線で接続中の場合、接続が切れてしまう場合があります。WPS/AOSS™ の設定を始める前に、通信中の無線機器に支障がないか、お確かめください。なお、設定が完了すると、自動的に通信できるようになります。詳しくは、無線 LAN アクセスポイントのメーカーにお問い合わせください。
- PIN 方式を使用したい場合は、下記をご覧ください。
⇒ユーザーズガイド ネットワーク設定編「無線 LAN の設定をする」

無線 LAN 環境で使用する場合の注意点

● 設置に関する注意
- 本製品の近くに、微弱な電波を発する電気製品（特に電子レンジやデジタルコードレス電話）を置かないでください。
- 本製品と無線 LAN アクセスポイントの間に、金属、アルミサッシ、鉄筋コンクリート壁があると、接続しにくくなる場合があります。

● 通信に関する注意
- 環境によっては、有線LAN接続やUSB接続と比べて、通信速度が劣る場合があります。写真などの大きなデータを印刷する場合は、有線 LAN 接続または USB 接続で印刷することをお勧めします。

注意

■ **メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーが本製品に差し込まれていないことを確認してください。**
■ **無線 LAN を設定し直す場合は、ネットワーク設定を初期化してください。**
⇒ 47 ページ「ネットワーク設定を初期化する」

● 必要な機器

パソコン	無線LANアクセスポイントに無線LAN、または有線LANで接続されており、ネットワークに接続できる状態になっていることを確認します。
無線 LAN アクセスポイント（無線 LAN ルーターなど）	IEEE802.11b/g に対応した製品が必要です。

本書では、インフラストラクチャモードの無線 LAN 環境の場合の接続方法について説明しています。アドホックモード（無線 LAN アクセスポイントを経由せずに使うモード）で無線 LAN をお使いの場合は、弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）の「よくあるご質問（Q&A）」をご覧ください。

注意

■ **DHCP 機能のある ADSL モデム、またはひかり電話対応機器（ルーター機能付）の環境に更に無線 LAN アクセスポイント等を追加接続している場合は、追加のアクセスポイントの DHCP 機能等を OFF にしてください。詳しくは、お使いのアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。**

セキュリティソフトウェアについて

インストール

市販のセキュリティソフトでファイアウォール機能が有効に設定されていると、インストール中にセキュリティの許可を促す画面が表示されることがあります。この場合は許可をしてください。

注意

■ セキュリティ許可を促す画面で、拒否をするとインストールを完了できないことがあります。この場合は、セキュリティソフトを再度インストールするか、セキュリティソフト提供元にお問い合わせください。

印刷やその他の機能をご利用になるとき

インストール完了後、印刷やその他の機能をご使用になるときに、セキュリティ許可を促す画面が表示されることがあります。この場合も許可をしてください。拒否をした場合の対処や印刷に使用するポートの通信許可の方法については、セキュリティソフト提供元にお問い合わせください。

本製品のネットワーク機能をご利用になるとき

以下の機能をご利用いただく場合は、セキュリティ設定を行う必要があります。

- ネットワークスキャン
- ネットワーク PC ファクス受信（Windows® のみ）
- BRAdmin Light

それぞれのセキュリティソフトの設定で、下記のポート番号を追加してください。
ポート番号の追加方法は、お使いのセキュリティソフトの取扱説明書、またはセキュリティソフト提供元にお問い合わせください。

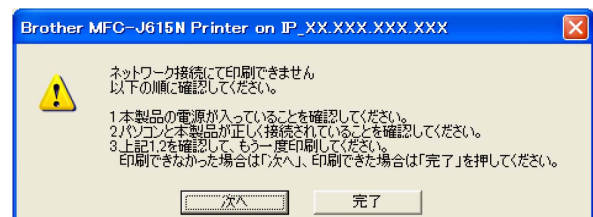
機能	名称 *1	ポート番号	プロトコル（TCP/UDP）
ネットワークスキャン	例）Brother NetScan	54925	UDP
ネットワーク PC ファクス受信（Windows® のみ）	例）Brother PC-FAX RX	54926	UDP
BRAdmin Light	例）SNMP	161	UDP

*1 名称は任意です。

ネットワークの設定がうまくいかないときは

Windows® の場合は、「ネットワークプリンター診断修復ツール」が用意されています。このツールを使って自動で修復できるかどうかをお試しください。
Macintosh の場合は、お使いのパソコンと本製品の IP アドレスおよびサブネットマスクを手動で確認し、再設定を行います。

「ネットワークプリンター診断修復ツール」を使って診断、修復する（Windows® の場合）

ネットワーク接続で印刷できないときは、次の画面が自動的に表示されます。以下の手順を実行してください。

1 画面の 1、2 の内容を確認して、もう一度印刷する

印刷できた場合は、［完了］をクリックします。

印刷できない場合は、「ネットワークプリンター診断修復ツール」を使って修復します。
⇒手順 2 へ

2 ［次へ］をクリックする

ネットワークプリンター診断修復ツールが自動的に起動します。

3 画面の指示に従って、診断修復作業を行う

注意

■ Windows Vista®/Windows® 7 をお使いの場合、［ユーザーアカウント制御］画面が表示されたときは、［許可］または［はい］をクリックしてください。

4 診断修復作業完了の画面が表示されたら、［テストページを印刷］をクリックする

テストページが印刷されて、本製品が正しくネットワーク接続できたことを確認できます。

ネットワークプリンター診断修復ツールを使っても改善されないときは、お使いのパソコンと本製品の IP アドレスおよびサブネットマスクを手動で確認し、再設定を行ってください。
⇒ユーザーズガイド ネットワーク設定編「ネットワークの設定がうまくいかないときは」

手動で確認 / 設定する（Macintosh の場合）

お使いのパソコンと本製品の IP アドレスおよびサブネットマスクを以下の手順で確認します。必要に応じて、本製品の IP アドレスを手動で設定します。

1 パソコンのネットワーク情報を調べる

1 画面左上の［アップルマーク］をクリックする

2 ［システム環境設定］－［ネットワーク］をクリックする

3 (Mac OS X 10.4.11 の場合)
［設定］－［TCP/IP］をクリックする

(Mac OS X 10.5.x、10.6.x の場合)
［詳細］－［TCP/IP］をクリックする

4 (Mac OS X 10.4.11 の場合)
「IP アドレス」と「サブネットマスク」を確認し、値を記入する

(Mac OS X 10.5.x、10.6.x の場合)
「IPv4 アドレス（IP アドレス）」と「サブネットマスク」を確認し、値を記入する

(A) パソコン側

IP Address (IP アドレス)	.　　.　　.
Subnet Mask (サブネットマスク)	.　　.　　.

5 「Subnet Mask（サブネットマスク）」の値を確認する

Subnet Mask (サブネットマスク)	255.　255.　255.　0

上記のように「255.255.255.0」であることを確認してください。

「255.255.255.0」以外の場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

2 本製品のネットワーク情報を調べる

1 ネットワーク設定リストを印刷する

⇒ 46 ページ「ネットワーク設定リストを印刷する」

2 「IP Address（IP アドレス）」と「Subnet Mask（サブネットマスク）」の行を確認し、値を記入する

```
<<NETWORK CONFIGURATION>>

<Node Type>                  Brother NC-XXXXh, Ethernet 10/100BASE-TX (Active)
<Node Firmware Ver.>         Firmware Ver.0.01
<MAC Address>                00-80-77-8a-89-4a
<Node name>                  BRN8A894A

<Active services>            BRN8A894A_P1
                             BINARY_P1
                             TEXT_P1
                             POSTSCRIPT_P1
                             PCL_P1
                             BRN8A894A_P1_AT

<Protocols>
 TCP/IP          Enabled          IPv6           Disabled
 NetBIOS/IP      Enabled          APIPA          Enabled
 HTTP Port80     Enabled          IPP Port631    Enabled
 HTTPS Port443   Disabled         POP3/SMTP      Enabled
 FTP             Enabled          TFTP           Enabled
 mDNS            Enabled          SNMP           Enabled
 LegacyAuth      Enabled          TELNET         Enabled
 LPD             Enabled          Raw Port       Enabled
 LDAP            Disabled         LLTD           Disabled
 Net Scan        Enabled          PC-FAX         Enabled
 Remote Setup    Enabled          WebServices    Enabled

 IP Address                  192.168.100.250  (set manually)
 Subnet Mask                 255.255.255.0
 Boot Method                 STATIC
 Boot Tries                  3
 IP Filter                   Disabled

 GW Timeout (sec)            5
 DNS Address Config          AUTO
 Primary DNS Server          192.168.3.1
 Secondary DNS Server        133.151.111.103

<NetBIOS Name>               BRN8A894A
<WINS Address Config>        AUTO
<Primary WINS Server>        133.151.111.102
<Secondary WINS Server>      133.151.111.103

<Printer Mail Address>       xxxx@xxxx.com
<SMTP Server>                133.151.236.10
<SMTP Port>                  25
<POP3 Server>                0.0.0.0
<POP3 Port>                  110
<POP3 Polling Freq. (sec)>   600

<mDNS Service Name>          Brother MFC-XXXX  [0080778a894a]

<WebServices Name>           Brother MFC-XXXX  [0080778a894a]

<Certificate>
 Status                      None

<Ethernet Link Mode>         Auto
<Ethernet Link Status>       Link OK, 100baseTX FDX  #Link drops=0

<Network Statistics>
Packets Received          684307
Bad Packets Received           0
Receiver overruns              0
Packets Transmitted        48816
Transmit packet fail           0
Packet Collisions              0
```

(B) 本製品側

IP Address (IP アドレス)	.　　.　　.
Subnet Mask (サブネットマスク)	.　　.　　.

3 パソコンの IP アドレスと本製品の IP アドレスを比較する

57 ページ「1 パソコンのネットワーク情報を調べる」で書き留めた（A）の値と、57 ページ「2 本製品のネットワーク情報を調べる」で書き留めた（B）の値を比較します。

(A) パソコン側

IP Address (IP アドレス)	XXX.　XXX.　XXX.	XXX

(B) 本製品側

IP Address (IP アドレス)	XXX.　XXX.　XXX.	XXX

1 (A) と (B) の太枠の部分が同じであることを確認する

例

(A) パソコン側

IP Address (IP アドレス)	192.　168.　123.	011

（B）本製品側

IP Address （IP アドレス）	192.　168.　123.	250

❷ 灰色の部分の値が、（A）と（B）で異なることを確認する

❸ 灰色の部分の値が、2 ～ 254 の範囲内であることを確認する

4　本製品の IP アドレス取得方法を確認する

57 ページ「2 本製品のネットワーク情報を調べる」で印刷したネットワーク設定リストの、「Boot Method」の項目を確認します。

```
<<NETWORK CONFIGURATION>>

<Node Type>                Brother NC-XXXXh, Ethernet 10/100BASE-TX (Active)
<Node Firmware Ver.>       Firmware Ver.0.01
<MAC Address>              00-80-77-8a-89-4a
<Node name>                BRN8A894A

<Active services>          BRN8A894A_P1
                           BINARY_P1
                           TEXT_P1
                           POSTSCRIPT_P1
                           PCL_P1
                           BRN8A894A_P1_AT

<Protocols>
 TCP/IP          Enabled              IPv6           Disabled
 NetBIOS/IP      Enabled              APIPA          Enabled
 HTTP Port80     Enabled              IPP Port631    Enabled
 HTTPS Port443   Disabled             POP3/SMTP      Enabled
 FTP             Enabled              TFTP           Enabled
 mDNS            Enabled              SNMP           Enabled
 LegacyAuth      Enabled              TELNET         Enabled
 LPD             Enabled              Raw Port       Enabled
 LDAP            Disabled             LLTD           Disabled
 Net Scan        Enabled              PC-FAX         Enabled
 Remote Setup    Enabled              WebServices    Enabled

<IP Settings>
 IP Address                192.168.100.250  (set manually)
 Subnet Mask               255.255.255.0
                           254.254
 Boot Method               STATIC
 IP Filter                 Disabled

 GW Timeout (sec)          5
 DNS Address Config        AUTO
 Primary DNS Server        192.168.3.1
 Secondary DNS Server      133.151.111.103

<NetBIOS Name>             BRN8A894A
<WINS Address Config>      AUTO
<Primary WINS Server>      133.151.111.102
<Secondary WINS Server>    133.151.111.103

<Printer Mail Address>     xxxx@xxxx.com
<SMTP Server>              133.151.236.10
<SMTP Port>                25
<POP3 Server>              0.0.0.0
<POP3 Port>                110
<POP3 Polling Freq. (sec)> 600

<mDNS Service Name>        Brother MFC-XXXX  [0080778a894a]

<WebServices Name>         Brother MFC-XXXX  [0080778a894a]

<Certificate>
 Status                    None

<Ethernet Link Mode>       Auto
<Ethernet Link Status>     Link OK, 100baseTX FDX  #Link drops=0

<Network Statistics>
Packets Received        684307
Bad Packets Received         0
Receiver overruns            0
Packets Transmitted      48816
Transmit packet fail         0
Packet Collisions            0
```

● 「Boot Method」が「AUTO」の場合

本製品をパソコンと同じルーターやハブに接続し、本製品の電源を入れ直してください。それでも改善されない場合は、次の「「Boot Method」が「STATIC」の場合」を参照して手動で設定してください。

● 「Boot Method」が「STATIC」の場合

本製品の IP アドレスを以下のように設定してください。

IP Address （IP アドレス）	xxx.　xxx.　xxx.	xxx

太枠内

57 ページ「1 パソコンのネットワーク情報を調べる」の（A）と同じ値を設定してください。

灰色の部分

ネットワークに参加しているすべてのパソコンと異なる、2 ～ 254 の値を設定してください。
この場合、ほかの機器と同じ IP アドレスにならないように、200 ～ 250 の範囲内で IP アドレスを選択することをお勧めします。（例えば、本製品の IP アドレスを 192.168.123.250 に割り当てます。）詳しくは、お使いのルーターの取扱説明書またはルーター提供元にお問い合わせください。

本製品の IP アドレス設定方法

(1) メニュー を押し、▲/▼ で【ネットワーク】を選び、OK を押す

(2) ▲/▼ で【有線 LAN】または【無線 LAN】を選び、OK を押す

(3) ▲/▼ で【TCP/IP】を選び、OK を押す

(4) ▲/▼ で【IP アドレス】を選ぶ

(5) IP アドレスを入力する
操作パネルから IP アドレスを入力し、OK を押す

(6) 停止/終了 を押す

注意

■ ネットワーク情報（IP アドレスおよびサブネットマスク）を再設定した場合、以下の点にご注意ください。

1. スキャナー、PC-FAX 送信、リモートセットアップ機能等を有効にするためには、本製品のネットワーク情報を調べて、ドライバーを再インストールする必要があります。
2. 同じネットワーク上で、このプリンターを利用しているパソコンがほかにある場合は、上記と同様にプリンターのIPアドレスを指定してドライバーを再インストールする必要があります。

5　ドライバーの再インストールをする

パソコンにドライバーをカスタムインストールして IP アドレスを固定する必要があります。
すでにインストールが完了している場合は、最初にアンインストールが必要です。

● ドライバーのアンインストール方法

(1) 管理者（Administrator）権限でログインする

(2) （Mac OS X 10.4.11 の場合）
[移動] メニューから［アプリケーション］を選択し、[ユーティリティ] －［プリンタ設定ユーティリティ］の順に開く
削除したいプリンターを選択し、[削除] をクリックする
（Mac OS X 10.5.x、10.6.x の場合）
［システム環境設定］－［プリントとファクス］の順に開き、削除したいプリンターを選択し、［－］ボタンをクリックする

(3) [Macintosh HD]（起動ディスク）から［ライブラリ］－［Printers］の順に開き、[Brother] フォルダーをドラッグして、ゴミ箱にドロップする

(4) （Mac OS X 10.4.11 の場合）
[MacintoshHD] － [ライブラリ] － [Printers] － [PPDs] － [Contents] － [Resources] － [en.lproj] の順に開き、フォルダー内のすべての「Brother xxxxxxxCUPS.gz」、「Brother xxx-xxxx.gz」ファイルをドラッグして、ゴミ箱にドロップする
（Mac OS X 10.5.x、10.6.x の場合）
[MacintoshHD] － [ライブラリ] － [Printers] － [PPDs] － [Contents] － [Resources] の順に開き、フォルダー内のすべての「Brother xxx-xxxx CUPS.gz」、「Brother xxx-xxxx.gz」ファイルをドラッグして、ゴミ箱にドロップする

(5) [Finder] メニューから［ゴミ箱を空にする］を選択し、ゴミ箱を空にする

注意

■ コンピューターに複数のブラザー製品がインストールされている場合は、一旦すべてのブラザー製品をアンインストールし、再度必要な製品のドライバーをインストールする必要があります。（特定の製品のみ削除することはできません）

用語集

● アドホックモード

無線 LAN アクセスポイントを経由せずに、無線機器同士が 1 対 1 で直接通信を行う方式です。

一時的に接続するゲーム機等に適した通信方式です。このアドホックモードに対して、無線 LAN アクセスポイントを経由する無線通信の方式を「インフラストラクチャモード」と呼びます。

このモードではインターネットの接続設定が失われます。本製品との接続は後述のインフラストラクチャモードをお勧めします。

● 暗号化（セキュリティ）方式

インターネットなどのコンピューター・ネットワークを通じて情報を送るとき、途中で他人に見られても解読できないようにすることを暗号化と言います。

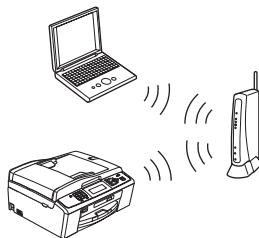
この暗号化にはさまざまな様式があり、特に無線 LAN では WEP や TKIP/AES などが利用されています。

暗号化された内容は、その暗号方式に従って解読をしなければ内容を読めません。解読をするものを鍵（キー＝パスワード）といいます。鍵は無線 LAN アクセスポイントで調べて用意しておく必要があります。

● インフラストラクチャモード

無線 LAN アクセスポイントを経由して通信する方式です。

無線機器が複数あり、同時にインターネットにも接続したい場合に適した通信方式です。特に理由がなければ、通常はインフラストラクチャモードを利用してください。

このインフラストラクチャモードに対して、無線 LAN アクセスポイントを経由しない無線通信の方式を「アドホックモード」と呼びます。

有線 LAN と同じネットワーク構成が適用できます。

● ゲートウェイ

ネットワークの「出入り口」の役割を果たすルーターなどの機器を指します。

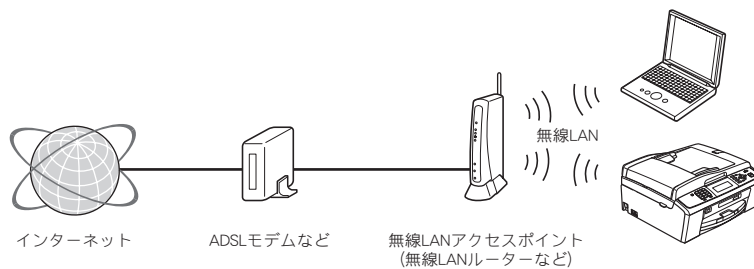
一般家庭ではインターネットへの出入り口を指します。なお、DHCP サーバーで自動割付されている場合は意識せず利用できます。

● サブネットマスク

IP アドレスの中で、どこまでがネットワーク全体のアドレスで、どこからがホスト（パソコン、プリンターなどのネットワーク機器）用のアドレスかを識別するために使われています。

通常は、クラス C と呼ばれる「255.255.255.0」の値でご利用ください（多くのアクセスポイントの初期値）。なお、DHCP サーバーで自動割付されている場合は意識せず利用できます。

● 無線 LAN アクセスポイント

無線通信の中継装置です。
無線ブロードバンドルーター、無線 LAN 親機と呼ばれたりします。

本製品が無線 LAN アクセスポイントに接続する為には、無線 LAN アクセスポイントの情報が必要になります。

● ルーター

ネットワーク同士を相互接続するときに使用する機器です。
ブロードバンドルーターを使用してインターネットに接続をしている場合は、ルーターがゲートウェイの役割をしています。

ルーターに無線機能が付くと無線 LAN アクセスポイントとも呼ばれます。つまり、機能を指して呼びかたが変わることがありますので、混乱しないようにしてください。

● AOSS™（エーオーエスエス）

AirStation One-Touch Secure System の略。バッファロー社が開発した無線 LAN 製品に搭載している技術です。

無線 LAN を利用するには複雑な設定が必要ですが、AOSS™ では、まず子機（本製品やパソコンなど）の側の AOSS™ ボタンを押して、次に親機（無線 LAN アクセスポイント）の側の AOSS™ ボタンを押すだけで機器が自動的に必要な設定を行ないます。

無線の知識が無くても、ボタンを押すだけで自動的に、接続の設定とセキュリティの設定を同時に行います。

● DHCP（ディーエイチシーピー）

ネットワークへパソコンやプリンターを接続するときに便利な機能です。
現在普及しているネットワークでは、接続されたパソコンやプリンターなどの IP アドレスを決める際、重複がないように管理する必要があります。ほかにも設定すべき項目があり、新しい機器をネットワークに接続するのは大変な作業になります。しかし DHCP を使うと、このような設定が自動的に行われるようになります。

最近のブロードバンドルーターには最初から DHCP 機能が組み込まれています。また、CATV 経由でインターネット接続するときに使うケーブルモデムにも DHCP 機能が付いていることがあります。このような場合は、特に複雑な設定をしなくても DHCP の機能を利用できます。但し、複数のルーターを接続するような場合は、1 台だけ DHCP 機能を有効にして、ほかは無効にする必要があります。

● IP アドレス（アイピーアドレス）

インターネットやネットワークに接続されたパソコンやネットワーク機器を識別するために割り振るアドレス（住所）の数字です。
「192.168.0.10」などのように、ピリオドで 4 つに区切られた数字で表現する IPv4 という方式が普及しています。

電源を切っていたりして、IP アドレスをしばらくの間自動取得していない場合、IP アドレスが再度割り振りされて変わってしまうことがあります。本製品は固定 IP アドレスで使用することをお勧めします。

● MAC アドレス（マックアドレス）

ネットワーク機器に登録されている機器固有の名前です。Ethernet Address（イーサネットアドレス）とも呼ばれています。すべてのネットワーク機器に、それぞれ異なる MAC アドレスが与えられています。

本製品は、有線 LAN 用、無線 LAN 用の 2 つの MAC アドレスを持っています。MAC アドレスを調べるときは、以下の手順で表示される画面で確認してください。

(1) メニュー を押し、▲/▼ で【ネットワーク】を選び、OK を押す

(2) ▲/▼ で【有線 LAN】または【無線 LAN】を選び、OK を押す

(3) ▲/▼ で【MAC アドレス】を選び、OK を押す

● MAC アドレスフィルタリング（マックアドレスフィルタリング）

無線 LAN アクセスポイントのセキュリティ機能です。

あらかじめ無線 LAN アクセスポイントにネットワーク機器の MAC アドレスを登録しておき、その登録した機器にしか通信を許可しません。

登録していない不明な機器からの不正侵入をブロックすることができます。よって、この機能が有効になっている無線 LAN アクセスポイントへ接続する場合、本製品の MAC アドレスを無線 LAN アクセスポイントに登録しておく必要があります。

● SSID（エスエスアイディー）

無線通信時のネットワーク名です。ESSID、ESS-ID と呼ぶこともあります。

IEEE 802.11 シリーズと呼ばれる無線 LAN のネットワークで使用され、最大 32 文字までの英数字を用いて任意に設定することができます。無線 LAN アクセスポイントのメーカーにより、初期値は異なります。

無線 LAN アクセスポイントは定期的に電波を発信し、その中には SSID の情報も含まれています。つまり第 3 者から SSID の存在が容易に調べられます。このような場合、SSID の隠ぺい（SSID ステルスモード）により見えなくすることもできます。

● TCP/IP（ティーシーピーアイピー）

インターネットなどのネットワーク通信で広く使われているプロトコル（コンピューター同士が通信するために使う共通の言葉）です。

● WEP（ウェップ）

無線 LAN の規格である IEEE802.11 に、データを暗号化して送受信する機能が追加され、これを、WEP（暗号化）機能と呼んでいます。

最近の無線 LAN の機器は、ほとんどが WEP 暗号化に対応しています。

● WPA/WPA2（ダブリューピーエー / ダブリューピーエー 2）

無線 LAN の業界団体 Wi-Fi Alliance® が発表したセキュリティ規格で、WEP 暗号より強力な暗号方式である TKIP/AES 暗号を使用しています。

ユーザー認証機能、一定時間ごとに暗号化に使う鍵を自動的に更新する機能、情報が改ざんされていないかを確認する機能などが盛り込まれています。

本製品では WPA-PSK（TKIP/AES）と WPA2-PSK（AES）をサポートしています。

● WPS（ダブリューピーエス）

Wi-Fi Protected Setup の略。無線 LAN は、電波を傍受されると通信データを盗まれる可能性があるので、セキュリティの設定が欠かせません。WPS とは、Wi-Fi Alliance® が考案した、簡単に接続設定できる規格です。

親機（無線 LAN アクセスポイント）も子機（本製品やパソコンなど）も WPS に対応していれば、それぞれのセットアップボタンを押すだけで設定が完了して接続できるようになります。または、PIN と呼ばれる機器固有の番号を入力・登録する PIN コード方式があります。

無線の知識が無くても、ボタンを押すだけで自動的に、接続の設定とセキュリティの設定を同時に行います。

本製品では、ボタンを押すだけの方式と PIN コード方式の 2 種類の設定方式に対応しています。

ドライバー&ソフトウェア CD-ROM の内容

付属のドライバー＆ソフトウェア CD-ROM をセットして表示される画面から、以下のことが行えます。

Windows®

インストール
本製品をプリンターやスキャナーとして使用するために必要なドライバーをインストールします。また、本製品をより便利にお使いいただくために Presto! PageManager や ControlCenter3 などのソフトウェアもインストールします。
ユーザーズガイド
ブラザーソリューションセンターの製品マニュアルサイトから、最新版のマニュアルをダウンロードできます。
カスタムインストール
プリンタードライバーだけなど、必要なソフトのみを個別にインストールすることができます。 ネットワークプリンターのドライバーやネットワークユーティリティのインストールができます。また、本製品の無線 LAN を設定することができます。 ドライバーのインストールがうまくいかなかった場合に行う「修復インストール」も用意されています。 ※ 修復インストールは、USB ケーブルで接続している場合にのみ使用できます。
その他ソフトウェア
• **FaceFilter Studio** 写真を簡単にふちなし印刷できます。また、顔がはっきり見えるように全体の明るさを調整したり、赤目の修正や表情を変化させることもできるソフトウェアです。 • **BookScan&Whiteboard Suite** スキャンした本の画像の影を除去したり、デジタルカメラで撮影されたホワイトボードの画像を自動補正できるソフトウェアです。 • **NewSoft® Presto!® Image Folio** 画像を編集できるソフトウェアです。

サービスとサポート
• **ブラザーホームページ** ブラザーのホームページへリンクします。 • **ソリューションセンター** インターネット経由で、本製品の最新情報を閲覧したり、最新データをダウンロードできます。 • **ブラザーダイレクトクラブ** インクカートリッジなどが購入できるオンラインショップへリンクします。 • **消耗品情報** ブラザー純正の消耗品などの購入について案内しているサイトへリンクします。 • **マイミーオ・オープンテラス** 無料でダウンロードできる各種コンテンツや、イベント・キャンペーン情報などを取り揃えたマイミーオのスペシャルサイトへリンクします。
オンラインユーザー登録
オンラインでユーザー登録を行います。

Macintosh

Start Here OSX
本製品をプリンターやスキャナーとして使用するために必要なドライバーをインストールします。
ユーティリティ
BRAdmin Light、無線 LAN 設定ウィザードが用意されています。
ユーザーズガイド
ブラザーソリューションセンターの製品マニュアルサイトから、最新版のマニュアルをダウンロードできます。
サービスとサポート
• **Presto! PageManager** TWAIN 準拠のスキャナーソフトウェアをダウンロードできます。 • **オンラインユーザー登録** オンラインでユーザー登録を行います。 • **ソリューションセンター** インターネット経由で、本製品の最新情報を閲覧したり、最新データをダウンロードできます。 • **消耗品情報** ブラザー純正の消耗品などの購入について案内しているサイトへリンクします。

使用環境

本製品とパソコンを接続する場合、次の動作環境が必要となります。

OS		サポートしている機能	インターフェイス	CPU/システムメモリー	必要なメモリー	推奨メモリー	必要なディスク容量	
							ドライバー	その他のソフトウェア
Windows®*1	Windows® 2000 Professional	プリント、PC-FAX 送信*4・受信、スキャン、リムーバブルディスク*5	USB、10/100Base-TX（イーサネット）、無線 LAN（IEEE 802.11b/g）	Intel® Pentium® II プロセッサ相当	64MB	256MB	110MB	340MB
	Windows® XP Home*2 Windows® XP Professional*2				128 MB			
	Windows® XP Professional x64 Edition*2			64 ビットのプロセッサ（Intel® 64またはAMD64）	256 MB	512 MB		
	Windows Vista®*2			Intel® Pentium® 4 プロセッサ相当 64 ビットのプロセッサ（Intel® 64またはAMD64）	512MB	1GB	600MB	530MB
	Windows® 7*2				1GB（32 ビット）2GB（64 ビット）	1GB（32 ビット）2GB（64 ビット）	650MB	
	Windows Server® 2003（ネットワーク接続によるプリント機能のみ）	プリント	10/100Base-TX（イーサネット）、無線 LAN（IEEE 802.11b/g）	Intel® Pentium® III プロセッサ相当	256 MB	512 MB	50MB	なし
	Windows Server® 2003 x64 Edition（ネットワーク接続によるプリント機能のみ）			64 ビットのプロセッサ（Intel® 64またはAMD64）				
	Windows Server® 2003 R2（ネットワーク接続によるプリント機能のみ）			Intel® Pentium® III プロセッサ相当				
	Windows Server® 2003 R2 x64 Edition（ネットワーク接続によるプリント機能のみ）			64 ビットのプロセッサ（Intel® 64またはAMD64）	512MB	1GB		
	Windows Server® 2008（ネットワーク接続によるプリント機能のみ）			Intel® Pentium® 4 プロセッサ相当 64 ビットのプロセッサ（Intel® 64またはAMD64）		2GB		
	Windows Server® 2008 R2（ネットワーク接続によるプリント機能のみ）			64 ビットのプロセッサ（Intel® 64またはAMD64）				
Macintosh	Mac OS X 10.4.11、10.5.x	プリント、PC-FAX 送信*4、スキャン、リムーバブルディスク*5	USB*3、10/100Base-TX（イーサネット）、無線 LAN（IEEE 802.11b/g）	PowerPC G4/G5 Intel® Core™ プロセッサ	512MB	1GB	80MB	400MB
	Mac OS X 10.6.x			Intel® Core™ プロセッサ	1GB	2GB		

*1 Microsoft® Internet Explorer 5.5 以上が必要です。
*2 WIA を使ったスキャンは、最大 1200x1200dpi の解像度に対応しています。スキャナーユーティリティを使用すれば、最大 19200x19200dpi の解像度に対応できます。
*3 サードパーティ製の USB ポートはサポートしていません。
*4 PC-FAX はモノクロのみ対応しています。
*5 リムーバブルディスクはフォトメディアキャプチャの機能です。

- 最新のドライバーは http://solutions.brother.co.jp/ からダウンロードできます。
- 記載されているすべての会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

CPU のスペックやメモリーの容量に余裕があると、動作が安定します。

この続きは…

ここまでの操作で、本製品を使用するための準備が終了しました。本製品をお使いいただくときは、目的に合わせて必要なユーザーズガイドをよくお読みいただき、正しくお使いください。

ユーザーズガイド 基本編（冊子）	付属のユーザーズガイド CD-ROM に収録（PDF 形式）		
	ユーザーズガイド 応用編	ユーザーズガイド パソコン活用編	ユーザーズガイド ネットワーク設定編
● ご使用の前に ● ファクス ● 電話帳 ● コピー ● フォトメディアキャプチャ ● こんなときは	● お好みで設定する ● ファクス ● 電話帳 ● 転送・リモコン機能 ● コピー ● フォトメディアキャプチャ	● プリンター ● スキャナー ● フォトメディアキャプチャ ● 便利な使い方（ControlCenter）	● 無線 LAN 手動設定方法 ● ネットワークスキャナー、ネットワークプリンターとして使うための設定方法

「画面で見るマニュアル」を閲覧するには

サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）からダウンロードできます。

ユーザーズガイド CD-ROM 内のユーザーズガイドを閲覧するには

ユーザーズガイド CD-ROM に収録されている「ユーザーズガイド 応用編」（PDF 形式）、「ユーザーズガイド パソコン活用編」（PDF 形式）、「ユーザーズガイド ネットワーク設定編」（PDF 形式）を見たいときは、以下の手順で操作します。

Windows® の場合

(1) **付属のユーザーズガイド CD-ROM を、パソコンの CD-ROM ドライブにセットする**

◆「ブラザー ユーザーズガイド CD-ROM」画面が表示されます。

(2) **お使いの製品名にカーソルを合わせる**

(3) **「ユーザーズガイドを PC にコピーする」をクリックする**

◆ すべてのユーザーズガイドがパソコンにコピーされます。コピー完了後にデスクトップ上のアイコン［ブラザー ユーザーズガイドへ］をダブルクリックすると、各ユーザーズガイドをご覧になれます。
※ Microsoft® Internet Explorer® 6 以上をご利用の方は下記にご注意ください。
「ユーザーズガイドを PC にコピーする」をクリックすると、［ファイルのダウンロード－セキュリティの警告］画面が表示されます。この画面で「実行」をクリックしてください。（「保存」をクリックしてもユーザーズガイドはコピーできません。）

または「ユーザーズガイドを表示する」にカーソルを合わせ、見たいユーザーズガイドをクリックする

◆ ユーザーズガイドが表示されます。

Macintosh の場合

(1) **付属のユーザーズガイド CD-ROM を、Macintosh の CD-ROM ドライブにセットする**

(2) **ユーザーズガイド CD-ROM のアイコンをダブルクリックする**

(3) **「index.html」をダブルクリックする**

◆「ブラザー ユーザーズガイド CD-ROM」画面が表示されます。

(4) **お使いの製品名にカーソルを合わせる**

(5) **「ユーザーズガイドを PC にコピーする」をクリックする**

◆ すべてのユーザーズガイドがMacintoshにコピーされます。コピー完了後にデスクトップ上のアイコン［ブラザー ユーザーズガイドへ］をダブルクリックすると、各ユーザーズガイドをご覧になれます。

または「ユーザーズガイドを表示する」にカーソルを合わせ、見たいユーザーズガイドをクリックする

◆ ユーザーズガイドが表示されます。

ユーザーズガイド（PDF 形式）をご覧になるには、Adobe® Reader® または Adobe® Acrobat® が必要です。
パソコンに Adobe® Reader® または Adobe® Acrobat® がインストールされていない場合は、インストールする必要があります。アドビシステムズ社のホームページ（http://www.adobe.com/）から Adobe® Reader® をダウンロードしてください。

関連製品のご案内

innobella

innobella（イノベラ）とは、ブラザーの純正消耗品のシリーズです。名前は、innovation（イノベーション：英語で「革新」）と Bella（ベラ：イタリア語で「美しい」）の 2 つの言葉に由来しています。革新的な印刷技術により、美しく鮮やかな印刷を実現します。
特に、写真のプリントには「イノベラ写真光沢紙」のご利用をお勧めします。イノベラインクと合わせてお使いいただければ、鮮やかでキメの細かい発色、艶やかな超高画質の写真に仕上がります。
高い印刷品質を維持するためにも、イノベラインク、イノベラ写真光沢紙およびブラザー純正の専用紙をご利用ください。

消耗品

インクや記録紙などの消耗品は、残りが少なくなったらなるべく早くお買い求めください。本製品の機能および印刷品質維持のため、下記の弊社純正品または推奨品のご使用をお勧めします。弊社純正品は携帯電話からもご注文いただけます。

公式直販サイト
ダイレクトクラブ

インクカートリッジ

種類	型番
ブラック（黒）	LC11BK
イエロー（黄）	LC11Y
シアン（青）	LC11C
マゼンタ（赤）	LC11M
4 個パック［ブラック（黒）/ イエロー（黄）/ シアン（青）/ マゼンタ（赤）各 1 個］	LC11-4PK
黒 2 個パック［ブラック（黒）2 個］	LC11BK-2PK

- 本製品にはじめてインクカートリッジをセットした場合は、本体にインクを充填させるため、2 回目以降にセットするインクカートリッジと比較して印刷可能枚数が少なくなります。
- 純正品のブラザーインクカートリッジをご使用いただいた場合のみ機能・品質を保証いたします。

専用紙・推奨紙

記録紙種類	商品名	型番（サイズ）	枚数
普通紙	上質普通紙	BP60PA（A4）	250 枚入り
光沢紙	写真光沢紙	BP71GA4（A4）	20 枚入り
		BP71GLJ50（L 判）	50 枚入り
		BP71GLJ100（L 判）	100 枚入り
		BP71GLJ300（L 判）	300 枚入り
		BP71GLJ500（L 判）	500 枚入り
マット紙	インクジェット紙（マット仕上げ）	BP60MA（A4）	25 枚入り

- OHP フィルムは、住友スリーエム社製 OHP フィルム（型番：CG3410）のご使用を推奨します。
- 最新の専用紙・推奨紙については、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）をご覧ください。

ブラザー工業株式会社
〒 467-8561
愛知県名古屋市瑞穂区苗代町 15-1